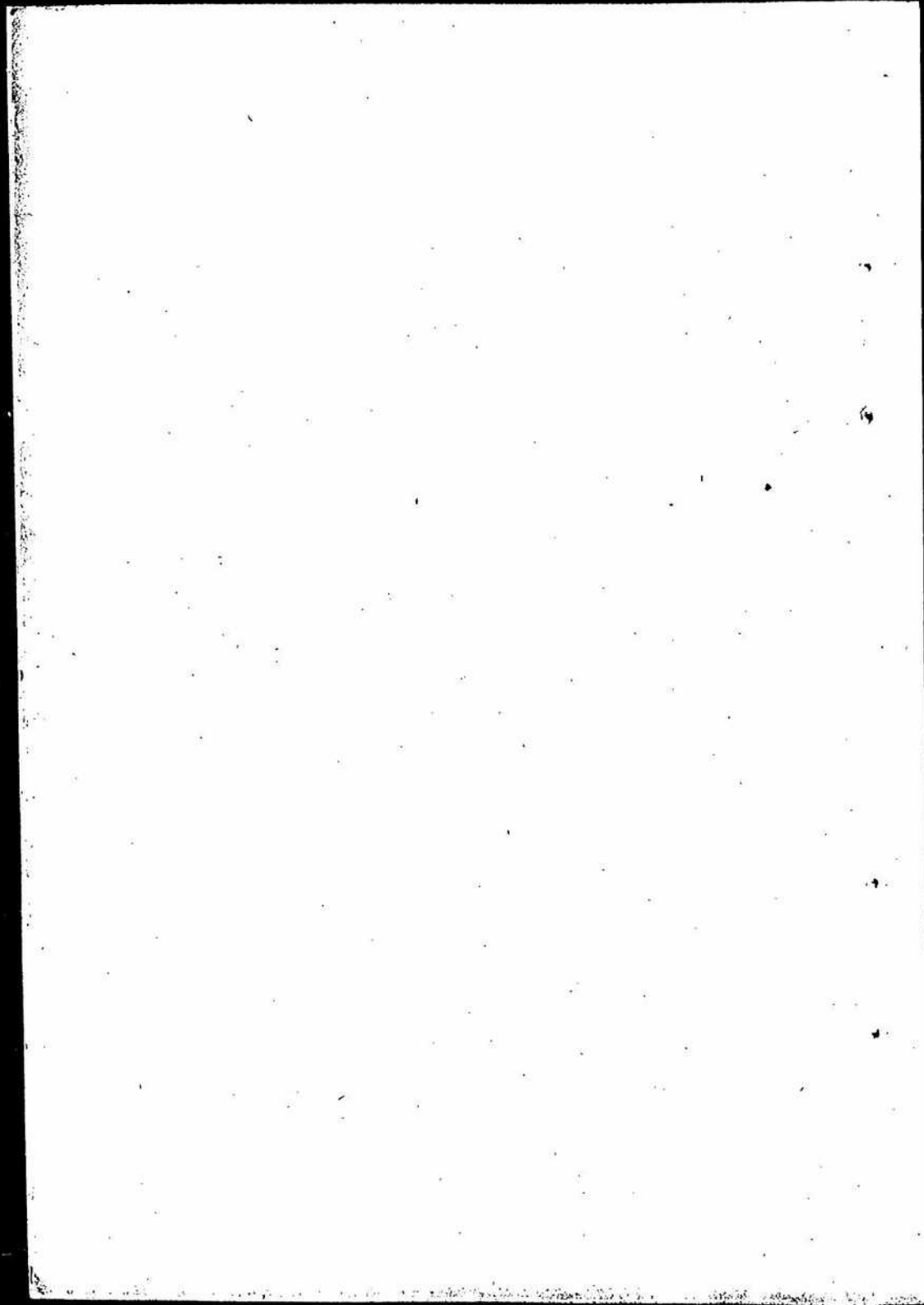


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
m

国立公文書館	
分類	返 赤
配架番号	3 A
	14
	67-15



龍 魁 機 書	類 番 號	/	/	8,	/
------------------	-------------	---	---	----	---

軍機秘

A 3 M 3

監督官

取扱要明号抄本

非密2057号

非密(機密)2057号

国立公文書館	
分類	
配架番号	67-15

昭和17年7月

三菱重工業株式会社
名古屋航空機製作所

監督官	航空	航本(二五)	所内
機密主任	機密主任		

030514 # 151000
BINGWA SINGROY 1881
BINGWA SINGROY 1881

目 次

左記頁=計2L16M2
取扱説明書(書号2055号)
1頁

ABM31M2ト比較表	1頁	
機体強度試験成績表	3	138頁
1. 概説	4	迄
1.1. 一般要目	4	1-3
1.3. 全般図	7	5
1.3.1. 全体正面図	7	5
1.3.2. 全体側面図	8	6
1.3.3. 全体平面図	7	7
2. 重量及重心点	10	8
2.1. ABM31M2ト重量上	10	
3) 見9L相違点		
2.1.1. 自重重量	10	
2.1.2. 搭載重量	10	
2.1.3. 相当翼弦	12	
2.2. 重量表	13	9-14
3.1.4. 降着装置中		
前脚重灯装置	14	36
尾脚重灯装置	14	36, 37
前脚止鉤引外装置	15	38, 39
車輪懸吊止鉤	16	40
3.1.8. 発動機架	17	75, 96
3.1.9. 動力装置	20	97
3.1.9.A. 燃料系統	20	97-100, 102
3.1.9.B. 潤滑油系統	25	105, 106, 108
3.1.9.D. 起動装置	28	110

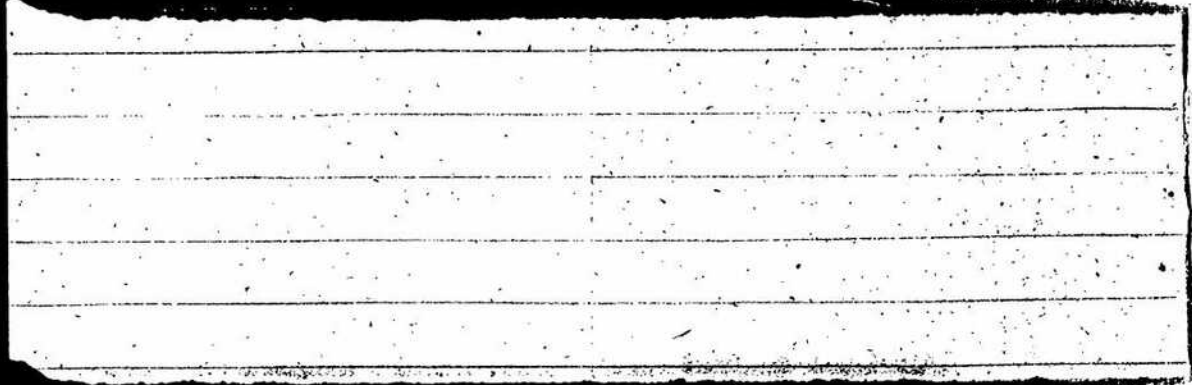
裏面白紙



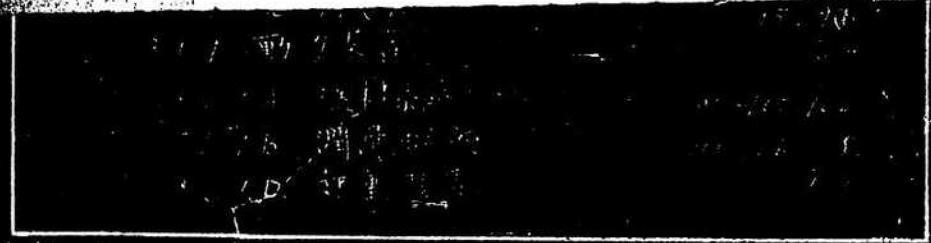
RESTRICTED

WDC No. 132949 Team AIR Index No. _____

Extracts from a Handling Manual on the A6M3 (Zeke), by the MITSUBISHI Heavy Industries Co., Ltd. and the NAGOYA Aircraft Manufacturing Plant, Military Secret, Jul. 1942, Blueprint Diagrams, 50 pp.



RESTRICTED



13 6 (15) 16-3-1000

裏
面
白
紙

RESTRICTED

WDC No. 132949 Team AIR Index No. _____

Extracts from a Handling Manual on the A6M3 (Zeke), by the MITSUBISHI Heavy Industries Co., Ltd. and the NAGOYA Aircraft Manufacturing Plant, Military Secret, Jul. 1942, Blueprint Diagrams, 50 pp.

JICPOA #15,080 RS 35708 AS 3165

Explanatory material for A6M3 (SAKAE 21)
To Wash.

Vandersall

RESTRICTED

3.1.9.E	発動機管制装置	29	111頁
3.1.9.F	恒速プロパ管制装置	29	111~112
3.1.9.G	油温、水温調整装置	32	113~115
3.1.9.H	排気管	34	116~118
3.1.9.I	発動機環状覆	36	120, 121
3.1.9.J	発動機架覆	38	123, 124
3.1.9.K	気化器吸入管	40	125, 126
3.1.9.L	真空ポンプ系統	41	127
3.1.9.N	発動機補器冷却装置	42	131
4.	発動機	43	139
4.1.	発動機一般要目表	43	139~144

裏面白紙

A6M3とA6M2の比較

A6M2の改造の主要部分

部 分	改 造 要 領	記 事
胴 体	1. 防火壁を1/5程度後退ス	発動機部重量増加セルヲ 以テ重心ヲ合セルヲナシ
	2. 遮風板前方上部部胴体 線図変更	発動機換装セルヲノ視 界ヲマシム
	3. 発動機架取付金具及之ニ 一續ク大縦通打変更	発動機部重量増加ニ伴 ヒ強度ヲ増ス
主 翼	1. 翼端ヲ約50%短縮シ折疊装 置ヲ添ス	工作簡易化ニマ
	2. 20機銃銃彈倉収納部ヲ 100發彈倉裝備可能トシム	彈倉容量ヲ増ス
	3. 翼内タル懸吊部ト骨及ク翼内 タル骨高ヲ低クス	燃料セル容量ヲ 増大セルヲ 1/4重量増加ニ伴ヒ 速度ヲ増ス
	4. 主桁筋材ヲ補強ス	
主 脚	1. 引込懸吊部ヲA6M2第1号機 型トス	作動ヲ確實トシム
	2. 胴体側車輪覆及其機構 ヲ変更ス	作動ヲ円滑トシム
兵 装 備 装	1. 20機銃銃彈倉ヲ100發入り ニ変更ス	
	2. 銃彈指數器新設	12子機ヲ
計 器 関 係	1. 排気溫度計新設	12子機ヲ
	2. 混合比計添上ス	
	3. 吸気溫度計添上ス	
発 動 機 関 係	1. 発動機策ニ一型ヲ添上ス	
	2. 発動機換装セルノ防火壁 前方大部分形状ヲ変更	
	3. 翼内タル重タル	約270kg
	4. 胴体内タル小タル	約60kg

裏
面
白
紙

裏面白紙

発動機関係	5. 潤滑油タンク径大トル	約54±
	6. 油冷打器増大ス	径250φトル
	7. 発動機架	発動機振装以外履増
	8. 発動機管制装置	= 運過給器追加
	9. 電動燃料タンク買内燃料槽=装備	
プロペラ	1. ディヤック装備	
<p>備考 発動機=同2性能表 取扱法、発動機製作所発行取扱説明書ヨル。</p>		

強度

機体強度試験成績表 (機体重量 2510kg = 対称値 52)

機体部分	荷重状態	要求荷重		荷重試験結果の 算出値 破壊強度率	備 考
		保安荷重	所要安全率		
主翼	A, 場合	7.0g	1.8	1.0	ALM2機強度試験成績書-LAM3計算 対称値 強度計算書 2056号
	B, 場合	6.25g	1.8	1.0	
	L-1, 場合	重心負荷倍率 3.25g	1.8		
	L-4, 場合	" 2.6g	1.8		
水平尾翼	風圧中心後方位[翼弦分布(1)の場合]	313kg/m ²	2.07	1.11	
	風圧中心前方位[翼弦分布(10)の場合]	156kg/m ²	2.07	1.21以上	
垂直尾翼	風圧中心後方位[翼弦分布(1)の場合]	198kg/m ²	2.07	1.21	
	風圧中心前方位[翼弦分布(10)の場合]	59kg/m ²	2.07	1.21以上	
補助翼	フラップ操作距離F-6(1)の場合 制限速度=12.5節	352kg/m ²	2.07	1.21以上	
フック	フラップ操作距離F-6(1)の場合 制限速度=12.5節	43kg/m ² 後流の部分 27.3	1.8	1.11	
胴体	胴体前部下層A, 場合	7.0g	1.8	1.0	三菱実験研究報告 第1046号
	胴体後部下層G-2B, 場合	水平尾翼荷重 313kg/m ²	1.8	1.11	
	L-1, 場合	重心負荷倍率 2.5g	1.8	1.0以上	
	拘提鉤荷重 L-6, 場合	50.20kg	2.34	1.0以上	
降着装置	主脚				三菱実験研究報告 第2025号及び対称値試験
	L-1, 場合	重心負荷倍率 2.5g	1.44	1.0以上	
	L-4, 場合	" 2.6g	1.44	1.1以上	
	尾脚				
発動機架	A, 場合	7.0g	1.8	1.0	
	拘提鉤	L-6, 場合	50.20kg	2.34	
坐席装置	垂直下向荷重	560kg	1.8	1.13	
	水平後向荷重	150kg	1.8	1.33以上	
	前向荷重	200kg	1.8	1.33以上	
轉覆時保護材	L-7D, 場合	50.20kg			

裏面白紙

AGM3

1 概 説

1-1 一般要目

機 体 本 子		第4号機中機	備 考
型 式		低翼単葉引込機	
定 員 数		1	
主 要 寸 法 (mm)	全 幅	展開時 折り畳時	17,000
	全 長	水 平	7,760
		三 角	8,245
全 高	水 平	3,507	
	三 角	3,570	10-1250 適合
重 量 (kg)	正 規 空 備 (C)		2,250kg
	日 軍 個 体 備 用 品 (含込)		1,807.08
	塔 載 量		728.92
荷 重 (kg)	許 容 過 荷 重 状 態		2,884.24
	翼 面 荷 重 (kg/m ²)		117.7
有 限 力 荷 重 (kg/H)	200kg		本機一連 2350kg *2号機 600kg
	名 称		機三三型
發 動 機	車 力 標	公 第 一 速 (地上)	1080
		第 一 速 (高度 2000)	1100
		第 二 速 (高度 6000)	980
	離 昇		1130
回 転 数	公 標	2700	
	離 昇	2750	
吸 入 圧 力 (水 銀 柱 mm)	公 標	325	
	離 昇	+200kg 吸 入 圧 力 525kg 離 昇	

裏面白紙

AGM3

機 体 春 号		特 徴 備 考	備 考
発 動 機	公称高度 (m)	6000	
	減速比	1/12	(0.5833)
	使用燃料種類	0.72 航空用揮発油	
フ ロ ン フ	名称型式	12A111型 恒速系	
	直 径 (m)	30.3050	
	重 量 (kg)	145.3	Y
燃 料 容 量	固有槽容量 (l)	胴体内 60 蓋内 410	
	落下式増設槽 (l)	320	
	總 容 量 (l)	54	
主 翼	翼 幅 (m)	17.000	
	翼 弦 (最大) (m)	2.500	胴体側面付
	面積 (胴体内) (m ²)	21.538	
	取 付 角 (度)	付角 2 端 -0.5	
	上 反 角 (度)	5.71	
フ ラ ッ フ	幅 (m)	1.595	
	弦 長 (m)	胴端 0.508 テ 0.428	
	面 積 (m ²)	0.746	
	運 動 角 (度)	60	
補 助 翼	幅 (実長) (m)	2.900	
	弦 長 (m)		
	面 積 (m ²)		
	平 衡 比 (%)	24	
	運 動 角 (度)	上 30 下 20	
尾 翼 部	幅 (m)	4.700	
	水平安定板 弦 長 (m)		
	面 積 (m ²)	1.493	No. 1
	取 付 角 (度)	0°10'	

裏面白紙

A6M3

機 体 番 号		第4号機以降 備考	
尾 部	昇降舵	幅 (m)	2.640
		弦 長 (m)	内端 0.3705 修正端 弦長 0.84
		面積(修正端を含む)(m ²)	0.4725 × 2 1.945
		平 衡 比 (%)	
		運 動 角 (度)	F 27 E 21.5
	垂直安定板	幅 (m)	
		全高(胴体基準線)(m)	1.72
		面 積 (m ²)	2.126 N=4A
	方向舵	取付角(度)	0
		全高(胴体基準線)(m)	1.720
面 積 (m ²)		1.693 N=4A	
弦 長 (m)		F端 0.6661	
運 動 角 (度)		33	
胴 体	長 (m)	7.035	
	幅 (m)		
	高 (m)		
降 着 装 置	車 輪	直 径 (m)	2.500
		幅 (m)	2.175
		タイヤ内圧力(at)	3.5
		間 隔 (m)	3.500
	尾 輪	直 径 (m)	0.150
		幅 (m)	0.575
		タイヤ内圧力 (at)	2.000F
		三 美 静 止 角 (度)	12.5

裏面白紙



A6M3

1.3 全般図

1.3.1 全体三角図



31150

11150

07411

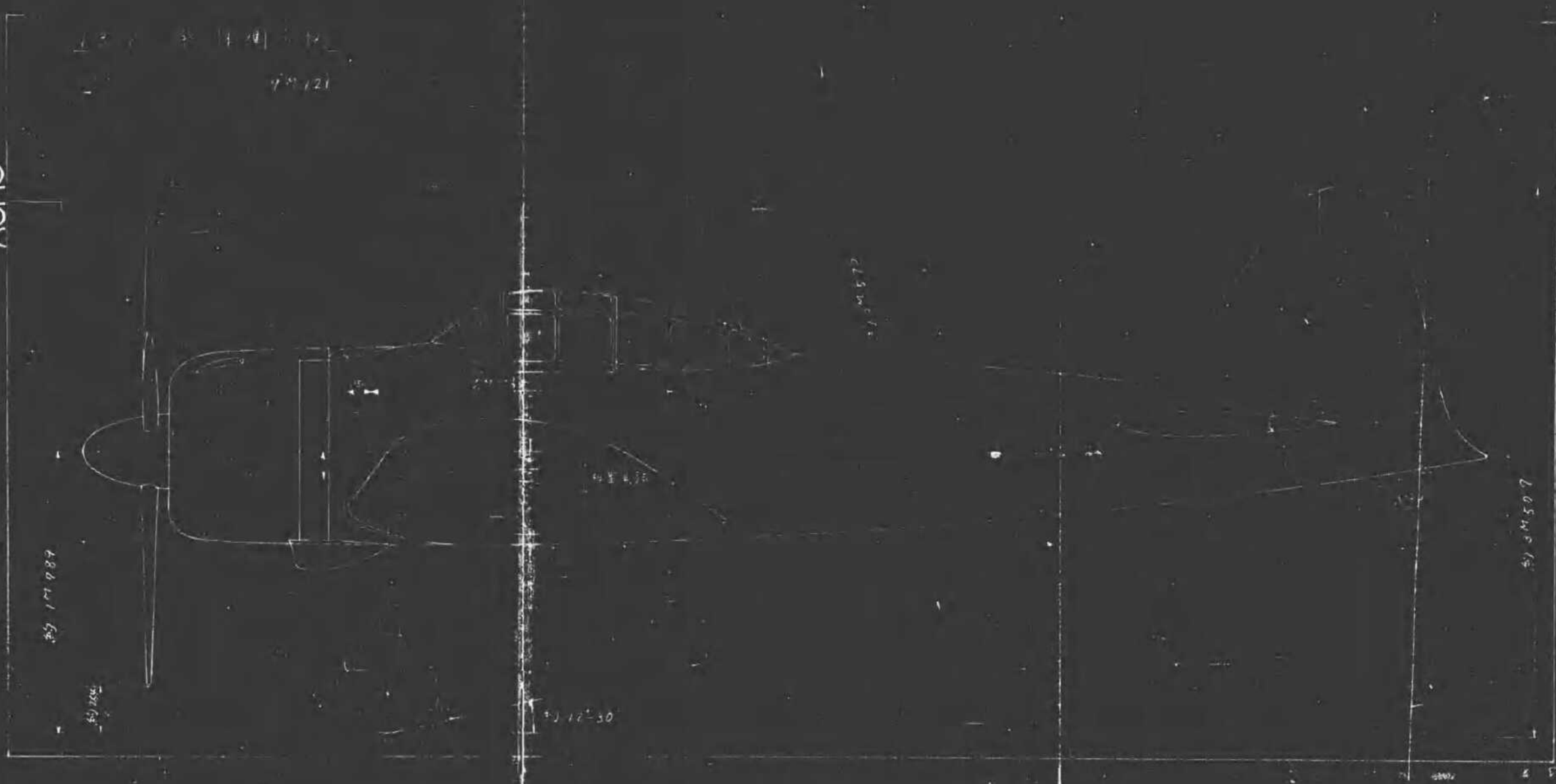
5 7

裏面白紙

1 : 3 2



A6M3



約 11987

約 754

78/21

約 34572

約 1730

約 34577

裏面
白紙



133 全体平面図

A6M3



A6M3

裏面白紙

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10

AGM3

2 臺灣の農業
2.1 AGM3 + AGM4 (1850) + AGM5
AGM3 + AGM4 + AGM5

2.1.1 糖
AGM3 = 1850年 1850年 1850年 1850年
面積 1000 畝 1000 畝 1000 畝 1000 畝
平均年産 1500 担 1500 担 1500 担 1500 担
AGM3 平均 20 年 20 年 20 年 20 年
AGM3 + AGM4 = 1850年 1850年 1850年 1850年
AGM3 + AGM4 + AGM5 = 1850年 1850年 1850年 1850年

AGM3 + AGM4 + AGM5 = 1850年 1850年 1850年 1850年
AGM3 + AGM4 + AGM5 = 1850年 1850年 1850年 1850年
AGM3 + AGM4 + AGM5 = 1850年 1850年 1850年 1850年
AGM3 + AGM4 + AGM5 = 1850年 1850年 1850年 1850年
AGM3 + AGM4 + AGM5 = 1850年 1850年 1850年 1850年

2.1.2 糖
AGM3 + AGM4 + AGM5 = 1850年 1850年 1850年 1850年

AGM3 + AGM4 + AGM5 = 1850年 1850年 1850年 1850年
AGM3 + AGM4 + AGM5 = 1850年 1850年 1850年 1850年
AGM3 + AGM4 + AGM5 = 1850年 1850年 1850年 1850年
AGM3 + AGM4 + AGM5 = 1850年 1850年 1850年 1850年

裏面白紙

1 : 25

A6M3

下記ノ如ク規定セリ

- ① 正規状態 A ---- 正規状態 C (3) 中
胴体内燃料 60立、潤滑油 4立「7式兵管(解
投方位測之機)」ヲ除キル状態ナリ
- ② 正規状態 B ---- 正規状態 C (3) 中
「7式兵管(解投方位測之機)」ヲ除キル状態ナリ
- ③ 正規状態 C ---- A6M3ノ標準状態ニシテ
胴体内燃料 60立、翼内燃料 410立、
潤滑油 36立ニシテ又
- ④ 正規全消費状態 ---- 正規状態 A (1) 中
燃料、潤滑油及消耗兵管(20発ノ標準
薬包、47発ノ標準薬包)ニシテ又
- ⑤ 正規整備前状態 ---- 正規状態 A (1) 中
燃料及潤滑油ヲ半分消費シテ消耗兵管ヲ全部
消費セル状態ナリ
- ⑥ 第一思案状態 (標準) ---- 正規状態 C (3)
ニシテ燃料 20立、潤滑油 20立、
潤滑油 20立ニシテ又
- ⑦ 第二思案状態 (標準) ---- 正規状態 C (3)
ニシテ燃料 20立、潤滑油 20立、
潤滑油 20立ニシテ又
- ⑧ 第三思案状態 (標準) ---- 第一思案状態 (6)
ニシテ燃料 20立、潤滑油 20立、
潤滑油 20立ニシテ又

裏面白紙

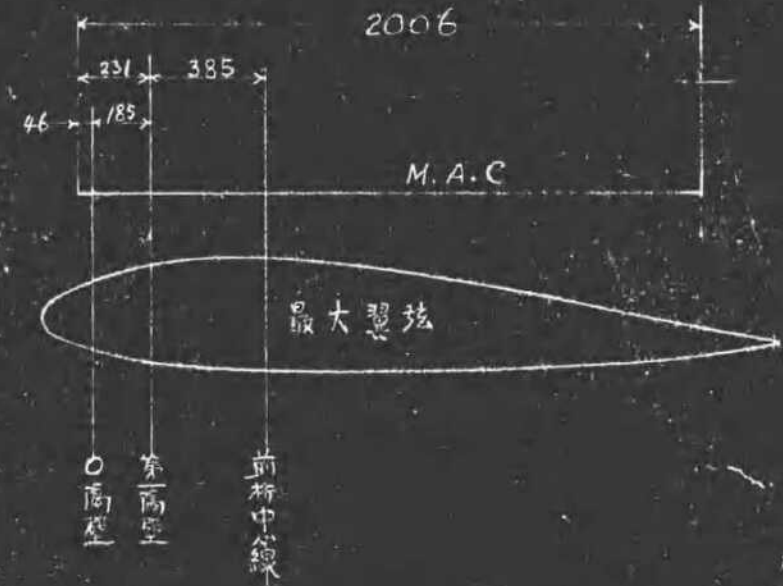


A6M3

被取及同対属品ヲ加ヘテ状態ナリ。

2. 1. 3 相当翼弦

空政廠ヨリ指示ニ依リ A6M2 = 今迄使用
ニ来リシ相当翼弦ヲ示シ下記ノ如ク使用
スルコトナリ。



註:- O 高さ + A6M2 / 防大壁 = シテ
A6M3 = 仮想 / 高さナリ。

裏面白紙

2.2 ABM3 第一号機乃至第三号機重量表

項 目	自重	各 状 態 重 量 (配)								
		正規状態 C (基準)	正規状態 A	正規状態 B	正規全機 状態	正規全機 状態	第一過荷重 状態(標準)	第二過荷重 状態(標準)	第三過荷重 状態	
自 重	1807.08	1807.08	1807.08	1807.08	1807.08	1807.08	1807.08	1807.08	1807.08	1807.08
機 体 内 重	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00
機 体 内 重	43.38	43.38	43.38	43.38	43.38	43.38	43.38	43.38	43.38	43.38
機 体 下 重	296.43	296.43	296.43	296.43	296.43	296.43	296.43	296.43	296.43	296.43
潤 滑 油	32.04	28.48	32.04	32.04	14.24	49.84	32.04	32.04	49.84	32.04
20 号 固 定 機 銃	46.00	46.00	46.00	46.00	46.00	46.00	46.00	46.00	46.00	46.00
同上 彈 藥 包 (彈 倉 共)	39.00	39.00	39.00	39.00	17.00	39.00	39.00	39.00	39.00	39.00
同上 索 射 裝 置	12.48	12.48	12.48	12.48	12.48	12.48	12.48	12.48	12.48	12.48
7.7 号 固 定 機 銃	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00
同上 彈 藥 包	47.60	47.60	47.60	47.60	47.60	47.60	47.60	47.60	47.60	47.60
九五式 同 機 銃 射 擊 裝 置	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
彈 指 示 器	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30
O.P.L. 照 準 器	1.95	1.95	1.95	1.95	1.95	1.95	1.95	1.95	1.95	1.95
30 匹 馬 力 彈 藥							64.00	64.00	64.00	64.00
彈 投 下 器 (文 書 兼 用)							9.50	9.50	9.50	9.50
九五式 一 号 機 銃 射 擊 裝 置 (制 御 部 除)	18.40	18.40	18.40	18.40	18.40	18.40	18.40	18.40	18.40	18.40
九五式 機 銃 射 擊 裝 置 (制 御 部 除)	25.74	25.74	25.74	25.74	25.74	25.74	25.74	25.74	25.74	25.74
彈 藥 吸 入 裝 置 (彈 藥 計 量 器 共)	17.40	17.40	17.40	17.40	17.40	17.40	17.40	17.40	17.40	17.40
九二式 二 号 機 銃 射 擊 裝 置	9.20	9.20	9.20	9.20	9.20	9.20	9.20	9.20	9.20	9.20
機 体 下 重							25.00	25.00	25.00	25.00
電 熱 瓶 及 同 附 屬 品							2.36	2.36	2.36	2.36
機 体 重 量	692.92	620.24	637.18	225.73	385.19	967.08	763.78	1049.94	763.78	1049.94
機 体 重 量	2500.00	2428.22	2479.28	2032.37	2795.27	2774.16	2525.86	2810.00	2525.86	2810.00
機 体 重 量	125	290	280	293	213	248	311	297	318	318
機 体 重 量	10	12								
機 体 重 量	17.7	26.0	25.5	26.1	22.1	23.8	27.2	26.3	27.3	27.3
使用燃料										
九五式 機 銃 射 擊 裝 置										
比 重 0.723										
使用潤滑油										
IX-700 120 油										
比 重 0.89										



裏面白紙

2.2 A6M3 第四号機以降重量表

項目	自重	各状態重量 (kg)								
		正規状態 C (基準)	正規状態 A	正規状態 B	正規全消費 状態	正規軽荷 状態	第一過荷重 状態 (偵察)	第二過荷重 状態 (爆撃)	第三過荷重 状態	
自塔乗者 1名	1807.08	1807.08	1807.08	1807.08	1807.08	1807.08	1807.08	1807.08	1807.08	1807.08
燃料 胴体内 槽 60立		75.00	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00
燃料 胴体内 槽 410立		60 ^{kg} 43.38	60 ^{kg} 43.38	60 ^{kg} 43.38	60 ^{kg} 43.38	60 ^{kg} 43.38	60 ^{kg} 43.38	60 ^{kg} 43.38	60 ^{kg} 43.38	60 ^{kg} 43.38
燃料 落下槽 320立		410 ^{kg} 296.43	410 ^{kg} 296.43	410 ^{kg} 296.43	410 ^{kg} 296.43	410 ^{kg} 296.43	410 ^{kg} 296.43	410 ^{kg} 296.43	410 ^{kg} 296.43	410 ^{kg} 296.43
潤滑油 54立		32 ^{kg} 32.04	32 ^{kg} 28.48	36 ^{kg} 32.04	36 ^{kg} 32.04	16 ^{kg} 14.24	34 ^{kg} 48.06	36 ^{kg} 32.04	34 ^{kg} 48.06	36 ^{kg} 32.04
20耗固定機銃 2門		46.00	46.00	46.00	46.00	46.00	46.00	46.00	46.00	46.00
同上用彈藥包 (彈倉共) 100發x2		75.00	75.00	75.00	37.00	37.00	75.00	75.00	75.00	75.00
同上用発射装置		12.48	12.48	12.48	12.48	12.48	12.48	12.48	12.48	12.48
7.7耗固定機銃 2門		25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00
同上用彈藥包 700發x2		47.60	47.60	47.60			47.60	47.60	47.60	47.60
九五式同調発射複装置		2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
残弾指示器 2ヶ		1.30	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30
O.P.L. 照準器 1ヶ		1.95	1.95	1.95	1.95	1.95	1.95	1.95	1.95	1.95
30.耗爆弾 2ヶ								64.00	64.00	64.00
爆弾投下器 (支基覆共)								9.50	9.50	9.50
九六式無線電話機 (制御管除) 1式		18.40	18.40	18.40	18.40	18.40	18.40	18.40	18.40	18.40
7式無線探照灯方位測定機 1式		25.74	25.74	25.74	25.74	25.74	25.74	25.74	25.74	25.74
酸素吸入装置 (附属品計器共) 3.5立		17.40	17.40	17.40	17.40	17.40	17.40	17.40	17.40	17.40
九二式二型改一落下槽 1		9.20	9.20	9.20	9.20	9.20	9.20	9.20	9.20	9.20
落下槽 1							25.00		25.00	25.00
電熱被服及同附属品 1								2.36	2.36	2.36
塔載重量	1807.08	728.92	656.24	703.18	245.73	408.14	1601.30	854.98	1077.16	1077.16
第一隔壁前後方、胴体基準線下方相当翼弦一対シ		2536.00	2463.52	2510.26	2052.81	2215.27	2848.38	2611.80	2887.24	2887.24
重心位置		125	290	287	293	213	248	311	297	318
使用燃料 航空九二揮発油 比重 0.723		-10	12							
使用潤滑油 エア-ブレン 720 油 比重 0.89		17.7	26.0	25.5	26.1	22.1	23.8	27.2	26.3	27.3

相当翼弦位置略同
単位 kg

裏面白紙

46M3 第344号機以降重量表

項目	数量	状態重量 (kg)									
		正規状態 C(基準)	正規状態 A	正規状態 B	正規状態 D	正規全重量 状態	正規輕筒 状態	正規筒重 状態	第一通筒重 状態	第二通筒重 状態	
出 産 者	1台	1863.00	1863.00	1863.00	1863.00	1863.00	1863.00	1863.00	1863.00	1863.00	1863.00
胴 体 内 積	602	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00
翼 内 積	4302	23.39	23.39	23.39	23.39	23.39	23.39	23.39	23.39	23.39	23.39
外 内 積	242	310.89	310.89	310.89	310.89	310.89	310.89	310.89	310.89	310.89	310.89
落 増 積	3202	57.84	57.84	57.84	57.84	57.84	57.84	57.84	57.84	57.84	57.84
潤 滑 油	542	231.38	231.38	231.38	231.38	231.38	231.38	231.38	231.38	231.38	231.38
2.0 乾固定機銃	2門	46.00	46.00	46.00	46.00	46.00	46.00	46.00	46.00	46.00	46.00
同上用彈藥包(彈倉)	100kgx2	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00
同上用発射装置		12.49	12.49	12.49	12.49	12.49	12.49	12.49	12.49	12.49	12.49
2.7 乾固定機銃	2門	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00
同上用彈藥包	100kgx2	47.60	47.60	47.60	47.60	47.60	47.60	47.60	47.60	47.60	47.60
名取大同鋼発射機装置		2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
防 弾 指 示 器	2ヶ	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30
O.P.L. 照準器	1ヶ	1.95	1.95	1.95	1.95	1.95	1.95	1.95	1.95	1.95	1.95
3.0 磁 爆 弾	2ヶ									66.00	66.00
磁爆弾下存(2基程)										9.50	9.50
九六式一等機銃機銃(砲)	1大	18.00	18.00	18.00	18.00	18.00	18.00	18.00	18.00	18.00	18.00
九六式機銃機銃(砲)	1大	25.74	25.74	25.74	25.74	25.74	25.74	25.74	25.74	25.74	25.74
機銃機銃(砲)	2大	22.90	22.90	22.90	22.90	22.90	22.90	22.90	22.90	22.90	22.90
九二式二型水一落下傘	1	9.20	9.20	9.20	9.20	9.20	9.20	9.20	9.20	9.20	9.20
落 下 増 積	1							25.00			25.00
機銃機銃(砲)	1								2.36		2.36
搭 載 重 量		815.00	821.34	726.44	702.76	209.93	421.17	1091.76	790.46	1157.12	
機 重		1863.00	2479.60	2544.34	2394.46	2603.78	2712.83	2284.14	2944.26	2754.48	3426.12
第一隔壁(1) 重量	kg	147	323	304	317	315	237	271	301	329	307
胴体基準線下分	kg	15	22								
相当量(機銃上)	%	18.9	27.6	24.6	27.3	27.2	23.3	25.0	28.5	27.9	28.8

使用燃料 使用潤滑油
航空九二揮発油 比重 0.723
機銃機銃(砲) 比重 0.93



裏面白紙



前脚電灯装置

前脚電灯装置

尾脚電灯装置

機体

機体中央線
機体基準線

機体中央線
機体基準線
機体中央線
機体基準線

機体

機体

AGM15



A部詳細(脚)

B部詳細(脚)

機体後方可見



押ボタン開閉器一型

機体後方可見

機体

機体

機体

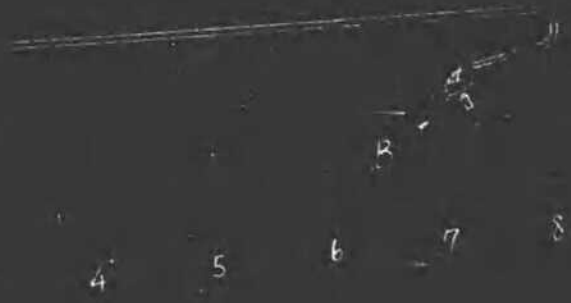
前脚部、開閉器設置、
 脚部、調整部、
 脚部、調整部、
 脚部、調整部、

尾脚部設置

脚部調整部

調整部

前脚部、開閉器設置、
 脚部、調整部、
 脚部、調整部、
 脚部、調整部、
 脚部、調整部、
 脚部、調整部、
 脚部、調整部、
 脚部、調整部、
 脚部、調整部、
 脚部、調整部、
 脚部、調整部、



脚部調整部

脚部調整部

脚部調整部

脚部調整部

脚部調整部

脚部調整部

脚部調整部

脚部調整部



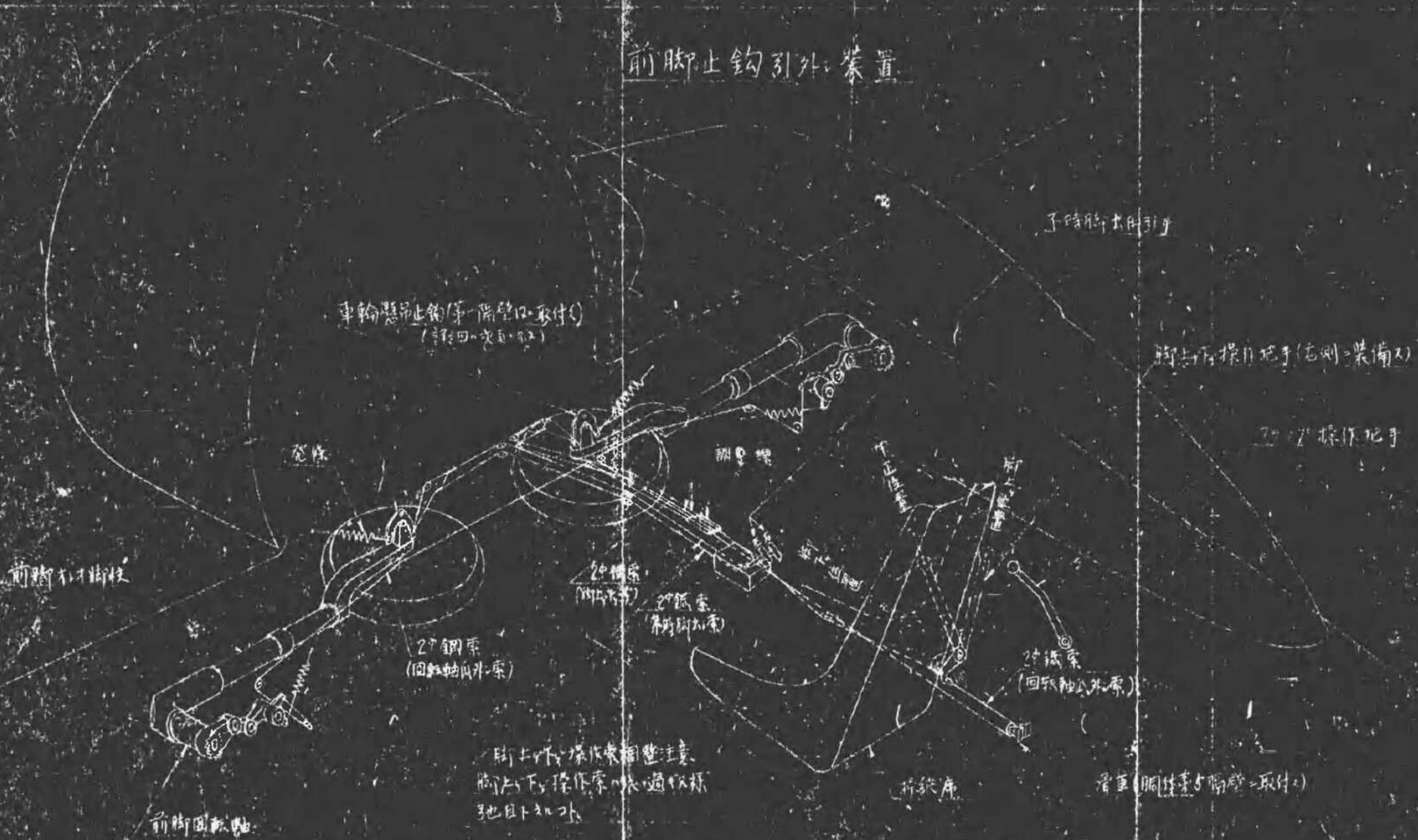
脚部調整部

裏面白紙



AGM13

前脚止钩引外装置



裏面白紙



車輪懸吊止鈎

第一隔壁

2φ鋼索(脚出入索)

押木付開閉器一型

10φ合金鋼結合木付一本

車輪止鈎



2φ鋼索(不時脚出索)

車輪

車軸繫留金具

ローラー式



AGM13

裏面白紙
めくれず

AgM3

3.1.8 発動機架

70mm, 100mm 鋼管 + 溶接 + 組立構造 = シテ
発動機取付部 = 11個 / 緩衝ゴムヲ有ス。
ゴム / 硬度ハ朋治テロナンバー 45 ± 2 +)

発動機架支柱 / 端部 / 胴体所火壁 = 4個 / 取付
金具 = テ取付ケラレ。

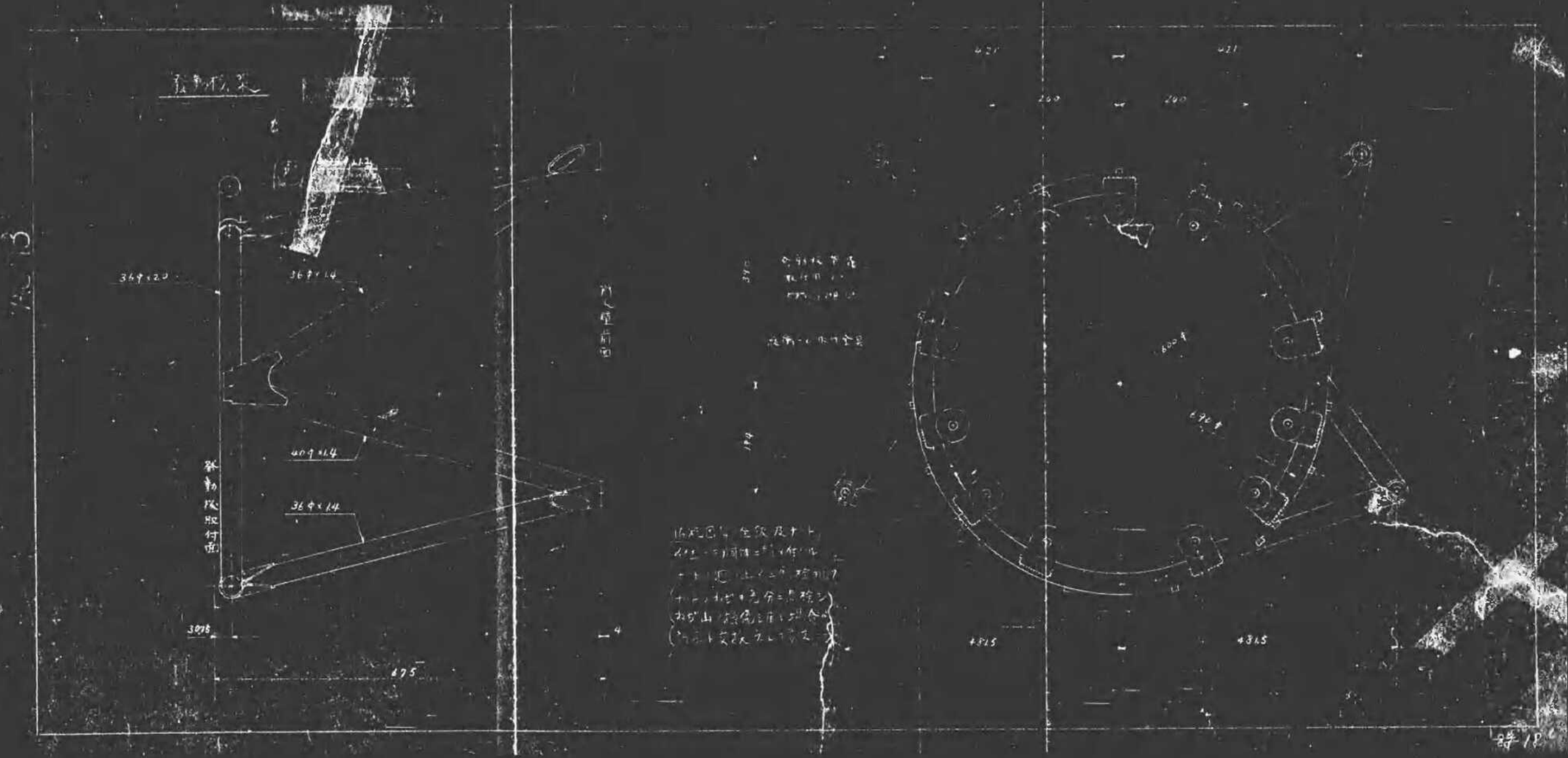
発動機架 / 装着 = 際ニテハ胴体側 / 取付金具
= 注意ニテ孔ヲ合セテ嵌込ムヲ要ス。此際 = 取
付金具ト孔ノ嵌合ヲ注意セザレバ取付金具 / ねじ
山ノ損傷セシムル惧アリ。

ねじ山 / 損傷ニシル場合 = ナサキヲ埋入セバ
ナサキ側 / ねじ山ニ潰レテ該部ノ強度ヲ著シ
低下セシムル危険アリ。

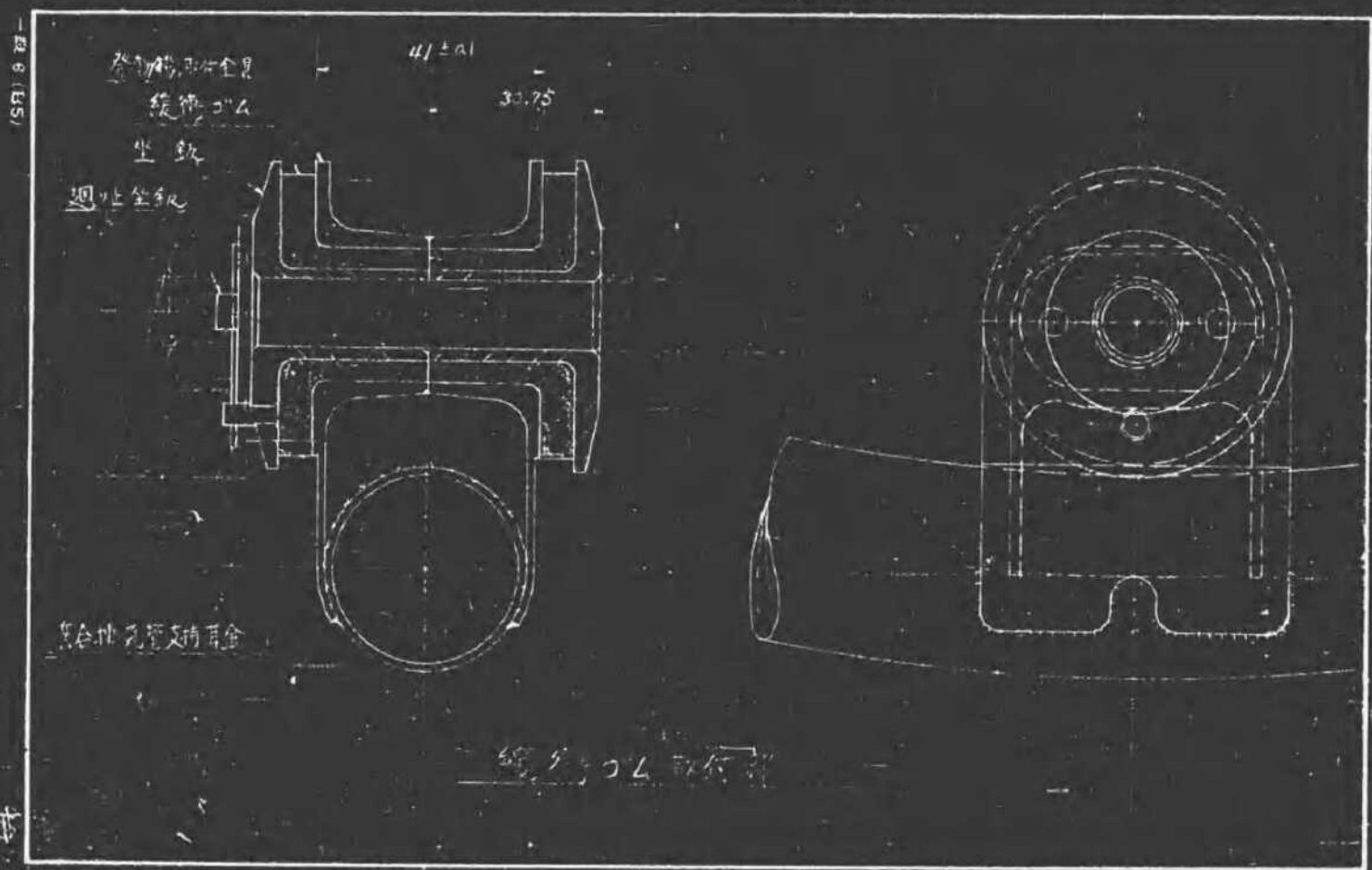
次頁 = 発動機構造並ニ緩衝ゴム取付部
詳細ヲ図示ス。

裏
面
白
紙

1 : 3 2



裏面白紙



1 : 25

3. 6. 9 動力装置

1. 燃料系統

(1) 本機の翼カは左右各1個、タンクは胴体内
= 1個、タンクは落し増設タンクは有る
共 = アルミ = ユーム銀 (4. コルズ) 溶接製
各タンク取付位置、容量は次頁、タンク配置
図は各タンク詳細、取付要領図を参照せよ

(2) コックの胴体中心最下部後桁直前 = 位置
其操作把手は座席左側 = ア
左、左右、右、上 胴増止 = 用途 =
切換機構

(3) 燃料管制器は左側〇番中央肋材 = 取付ケ
ラレ莫栓、燃圧調整等ハ胴体下面莫栓孔
ヨリ行フ、手動ポンプ把手は座席左側 = ア

(八九号以降)

(4) 翼内燃料タンクは各1個、電動燃料
ポンプ一式ヲ装備シ、燃料調圧器一型
ヨリ = 0.20-0.30 気圧 調整セラル

本電動燃料ポンプハ計器銀中央下部 =
設ケラレタル2個「スイッチ」ヨリ管制セ
ラル、本ポンプハ「ベバ」ロクニ起テ燃圧
低下スル場合「リリ」ヲ入レテ使用アルヲ
立止メス

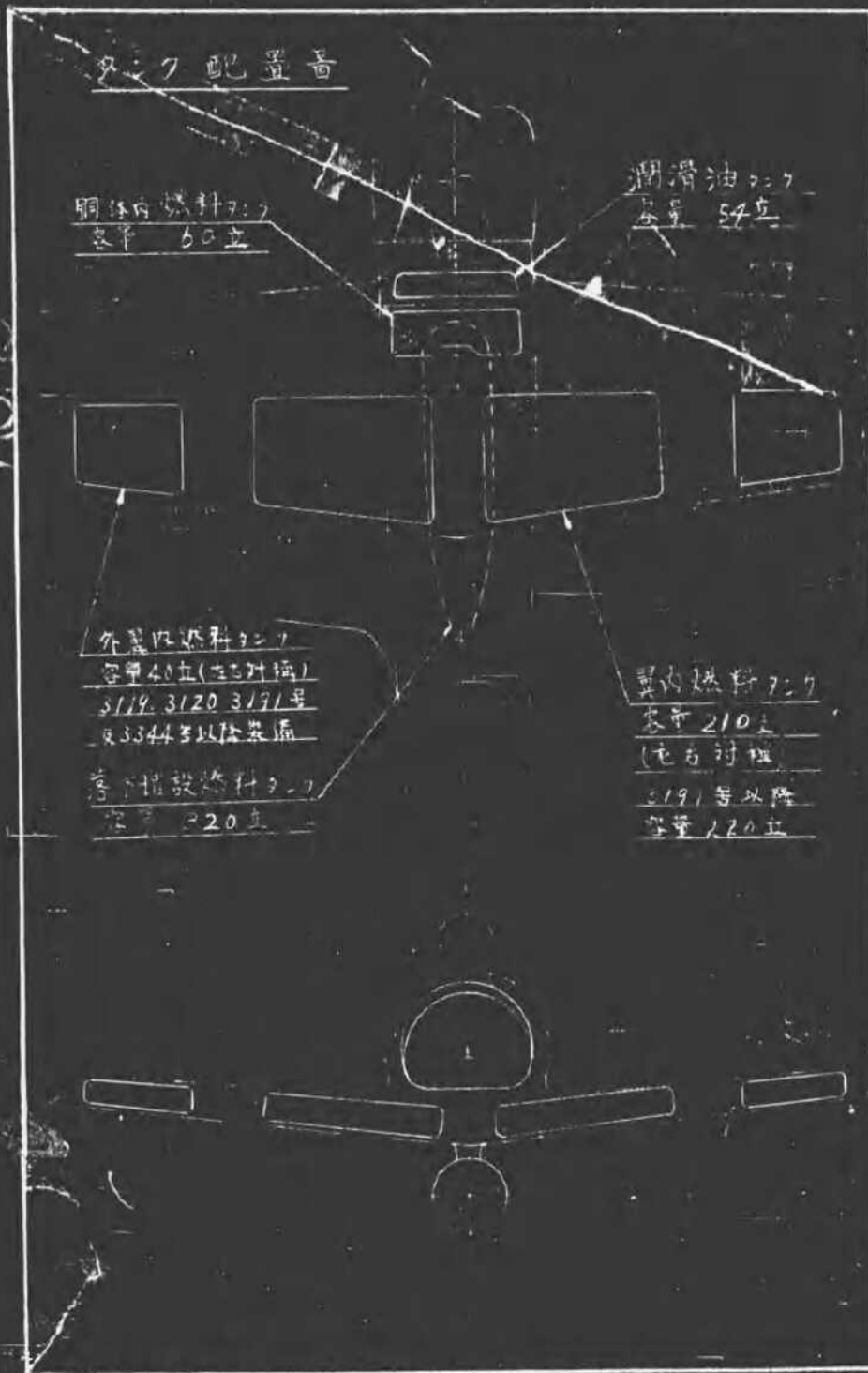
予圧此場合燃圧過高、極可アルモ、ハ
予圧は0.20 気圧 調整セラル

裏面白紙

電動燃料ポンプヲ装備セ機体ハ之ガ
使用ニ依リ「ババロク」生起ヲ防止ニ得
ルヲ以テ「特燃」使用博ナシ
兩舷燃料タンク使用場合ハ電動燃料
ポンプモ左右同時ニ使用スルヲ並前トス。
片舷燃料タンクニ使用ノ場合ハ全使用
燃料タンク用電動燃料ポンプノ使用ノ
コト。

第111号 第120号 第141号 第144号 以テ
翼ノ各ニ個ノカクナラズ

裏面白紙

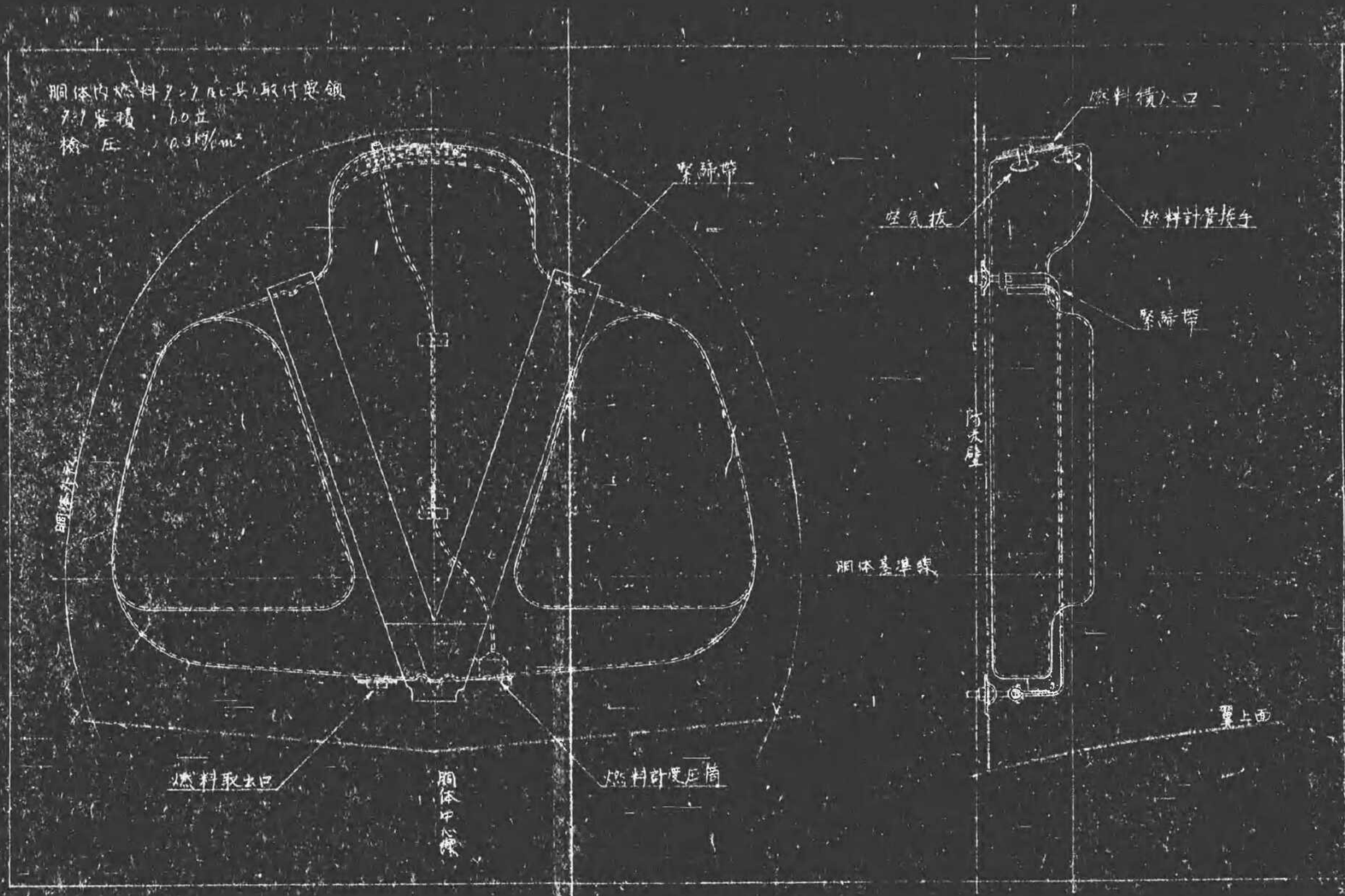


AGM12

裏面白紙



胴体内燃料 7-7 具 取付要領
7-7 巻積 60 立
検圧 $0.317/m^2$



裏面白紙



1 : 3 2

翼内燃料タンク並ニ其取付要幅圖 (八九号以降)

タンク容積 217公升 (7300立方寸) 220公升 (7317立方寸)
換壓 14/100psi

空機重量

燃料計管持子



不歸余

燃料計管持子

前桁基準線

燃料計管取付金具 燃料計管持子

燃料計管持子

緊締帶

燃料計管持子

前行中心線

飛行方向

後桁中心線

⑦

⑥

燃料計管持子
燃料計管取付金具
燃料計管持子

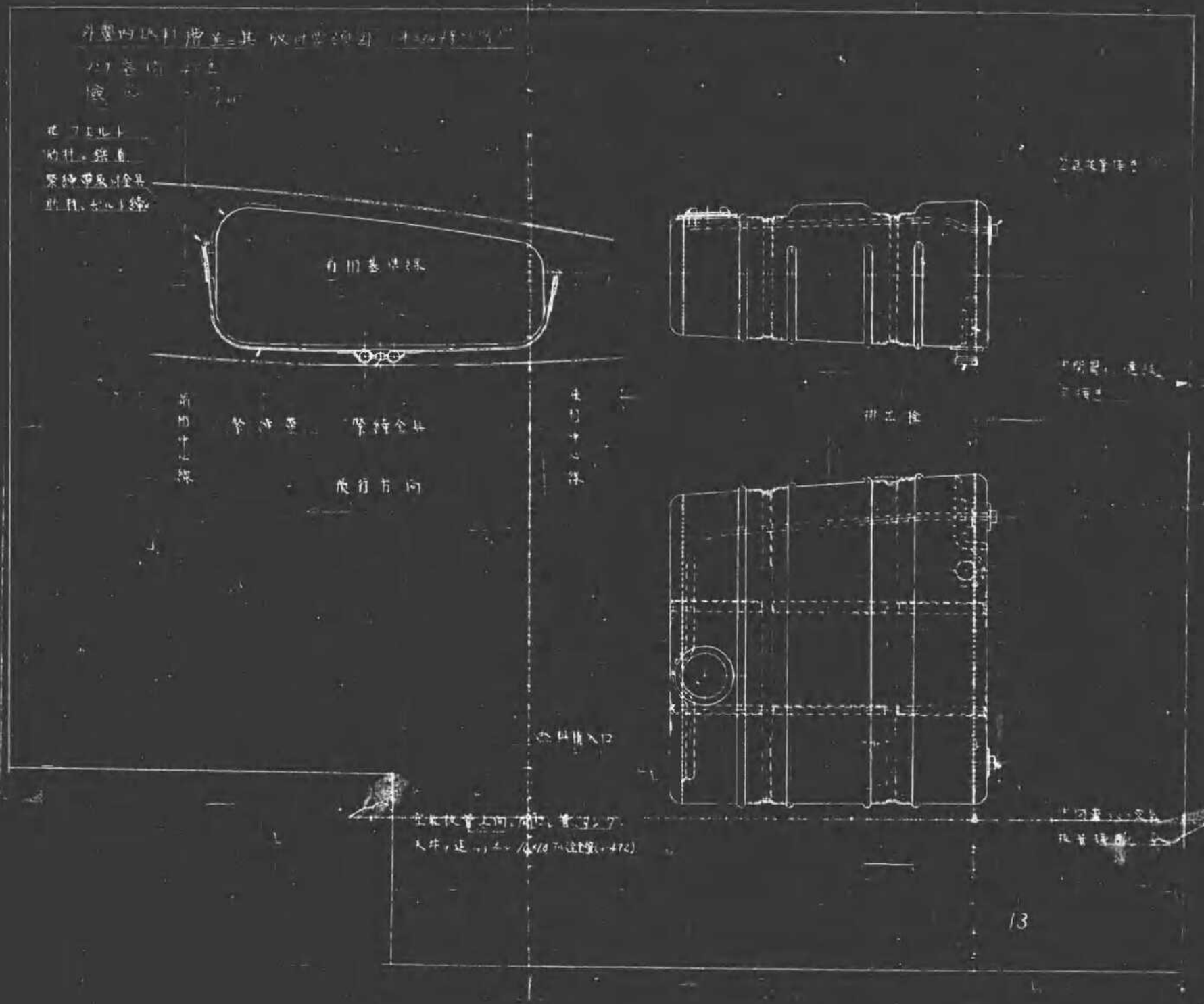
燃料計管持子

燃料計管持子
燃料計管取付金具
燃料計管持子

燃料計管持子

裏面白紙

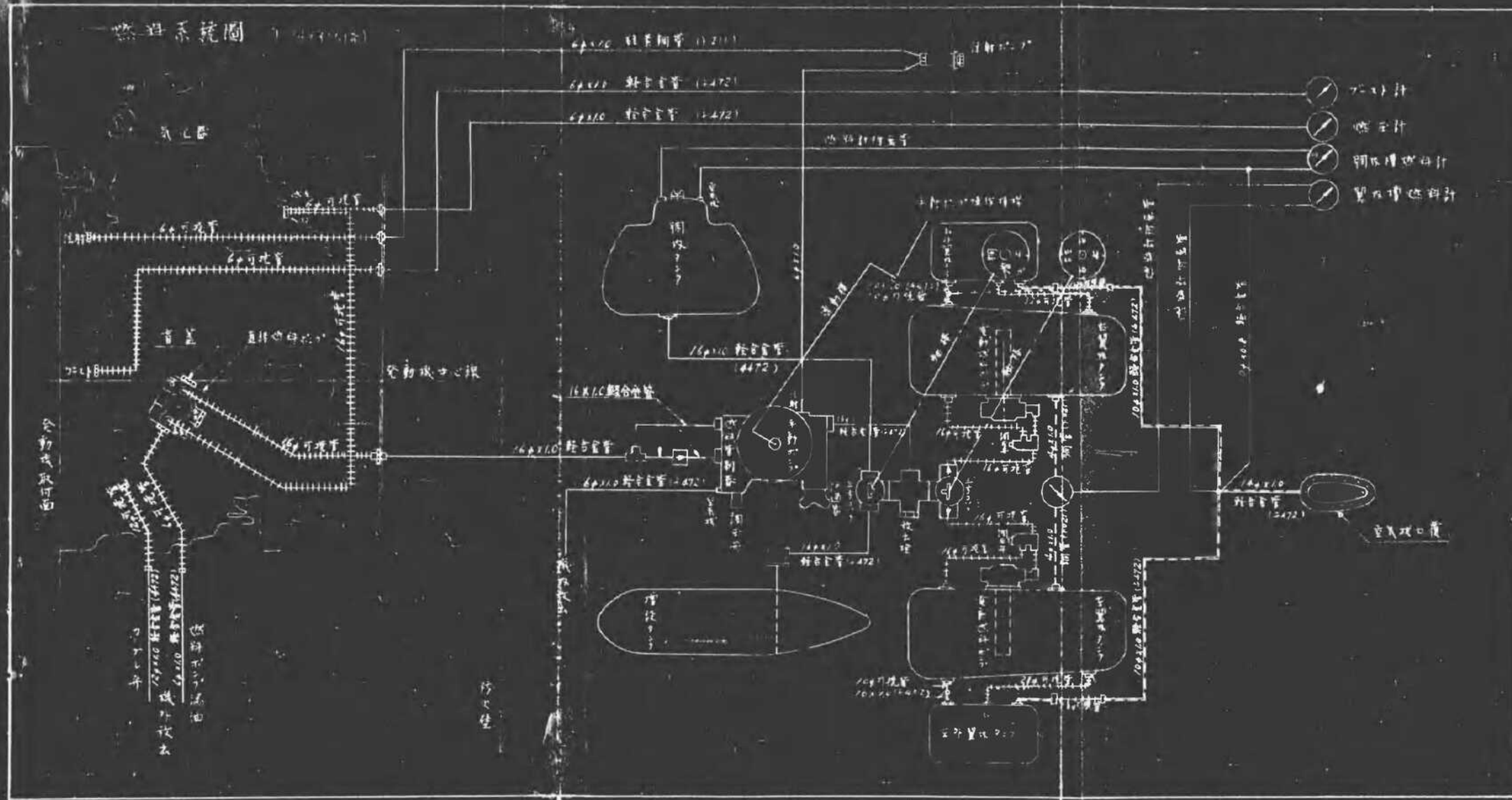




裏面白紙



裏面白紙



裏面白紙

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10

裏
面
白
紙

外翼内タンク、使用せしめ場合、注意事項

外翼内タンク、使用せしめ場合、
下記作業順序、依り管、接続機、行へし

(1) タンク連通用可挽管、(A)部、於、外、タンク
側、盲蓋、施スベシ
盲蓋、(A)部附近、固縛格納シテ
外、可挽管、附近、固縛シテスベシ

(2) 空気抜管、(B)部、於、外、スベシ

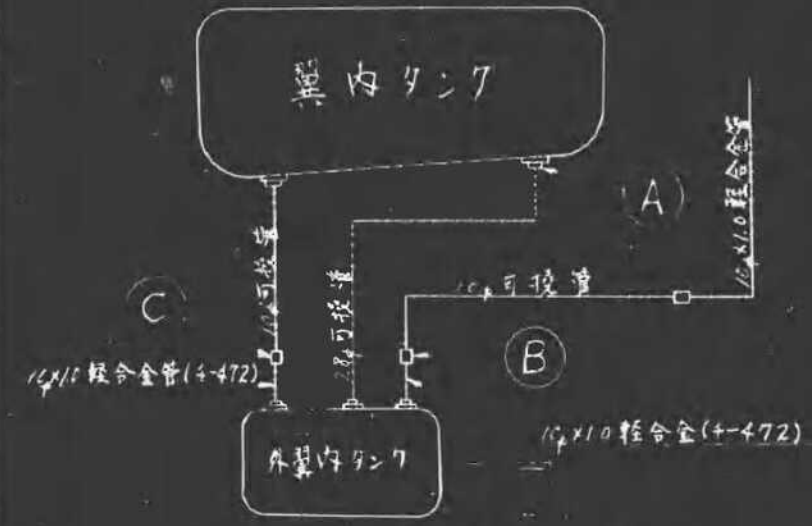
(3) 空気抜連通管、(C)部、於、外、(B)部、接続
スベシ、使用せしめ管接手金具、附近、固縛
スベシ

面次頁、参照スベシ

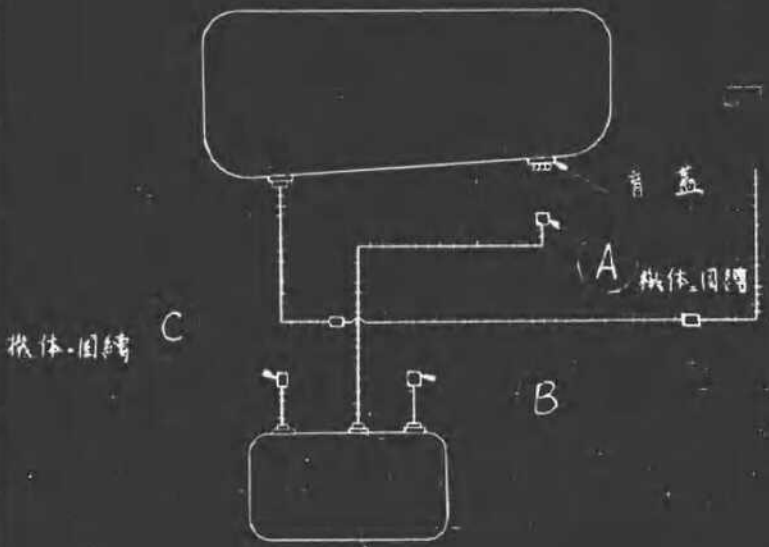
1 : 25



外翼内タンク併用セル場合



外翼内タンク併用セル場合



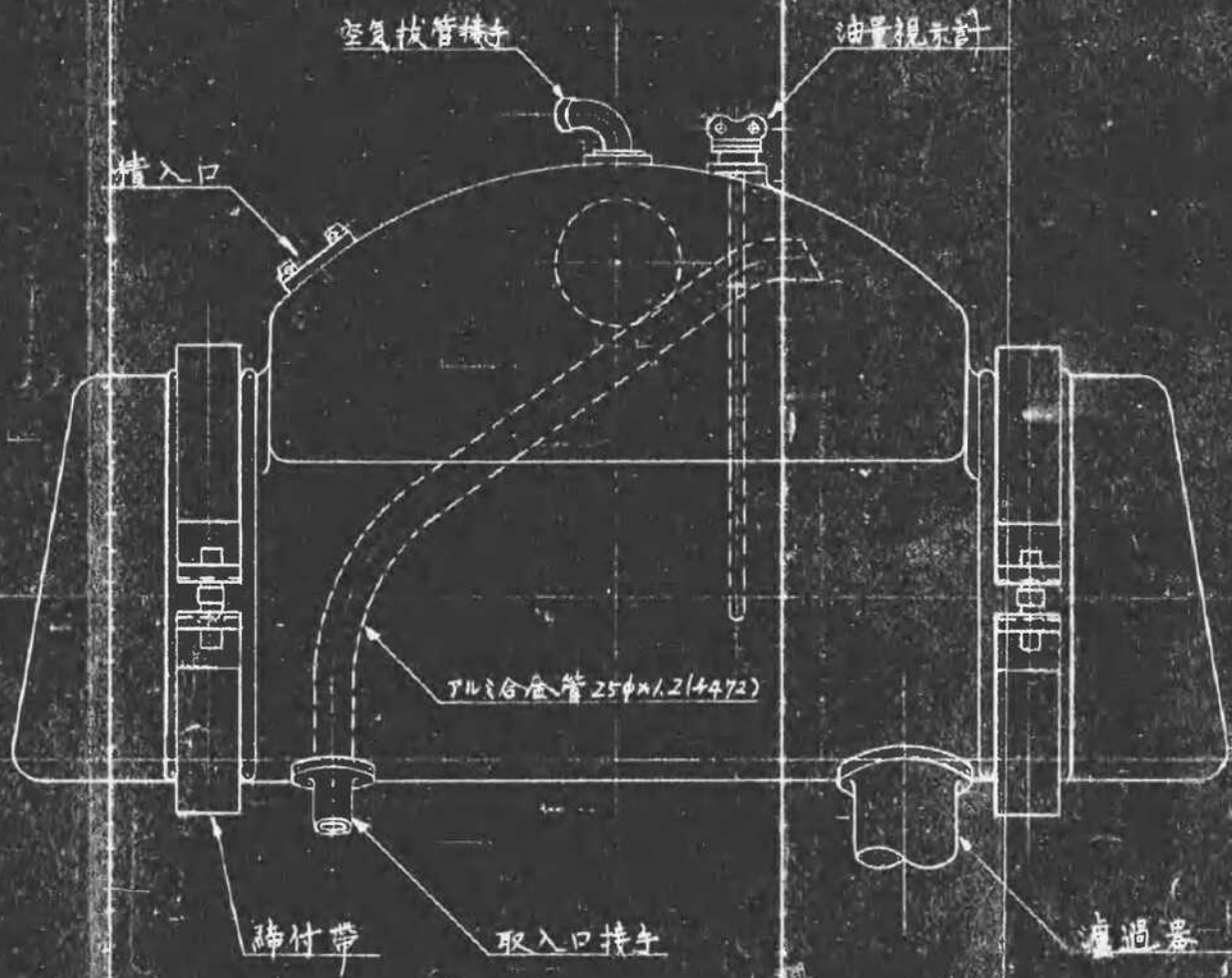
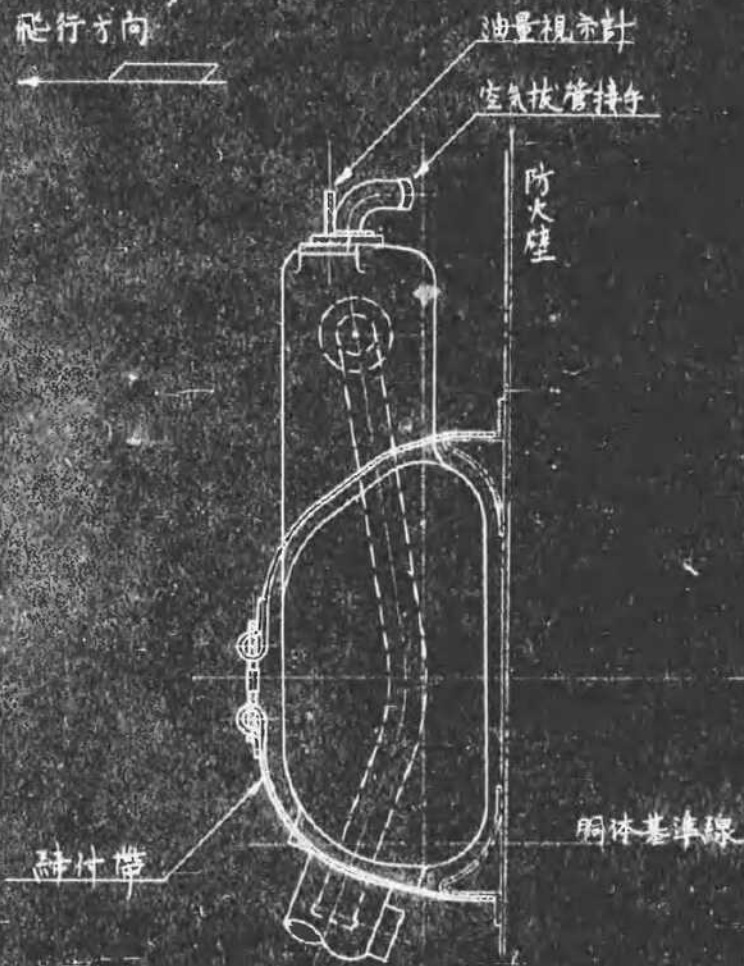
裏面白紙



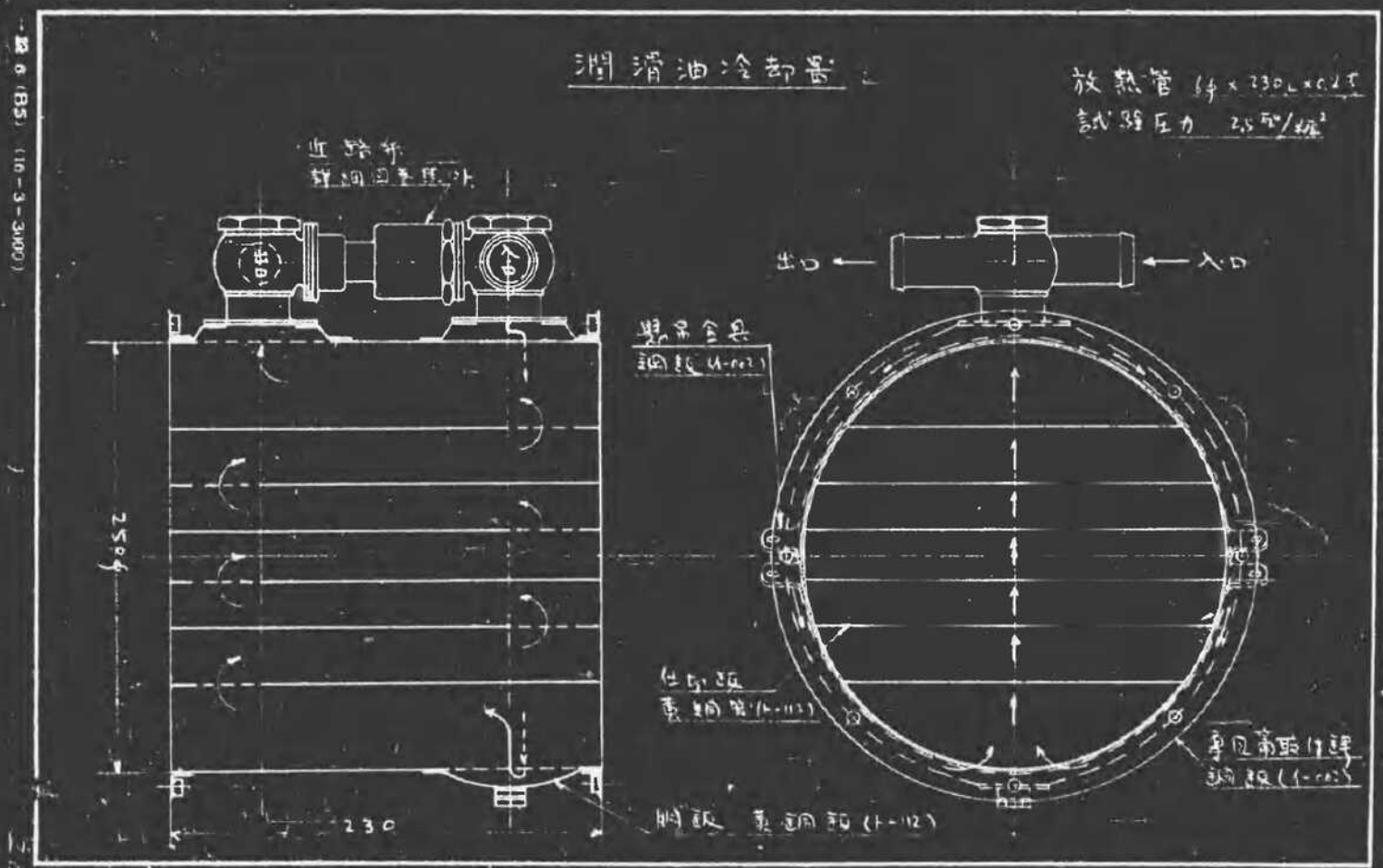
B 潤滑油槽、油冷却器並に潤滑油系統

- (1) タンクハデュラミン銀製ニテ防火型直前ニ取付ケラル。容量ハ58.5立、油量ハ54立、試験圧力ハ0.24 MPa/cm²
- (2) 油冷却器ハ次頁ノ図ヲ参照、裝備係ハ3.1.9.9.ヲ見ルベシ
- (3) 潤滑油系統ハ系統圖ヲ参照スベシ

飛行方向
←



裏面白紙

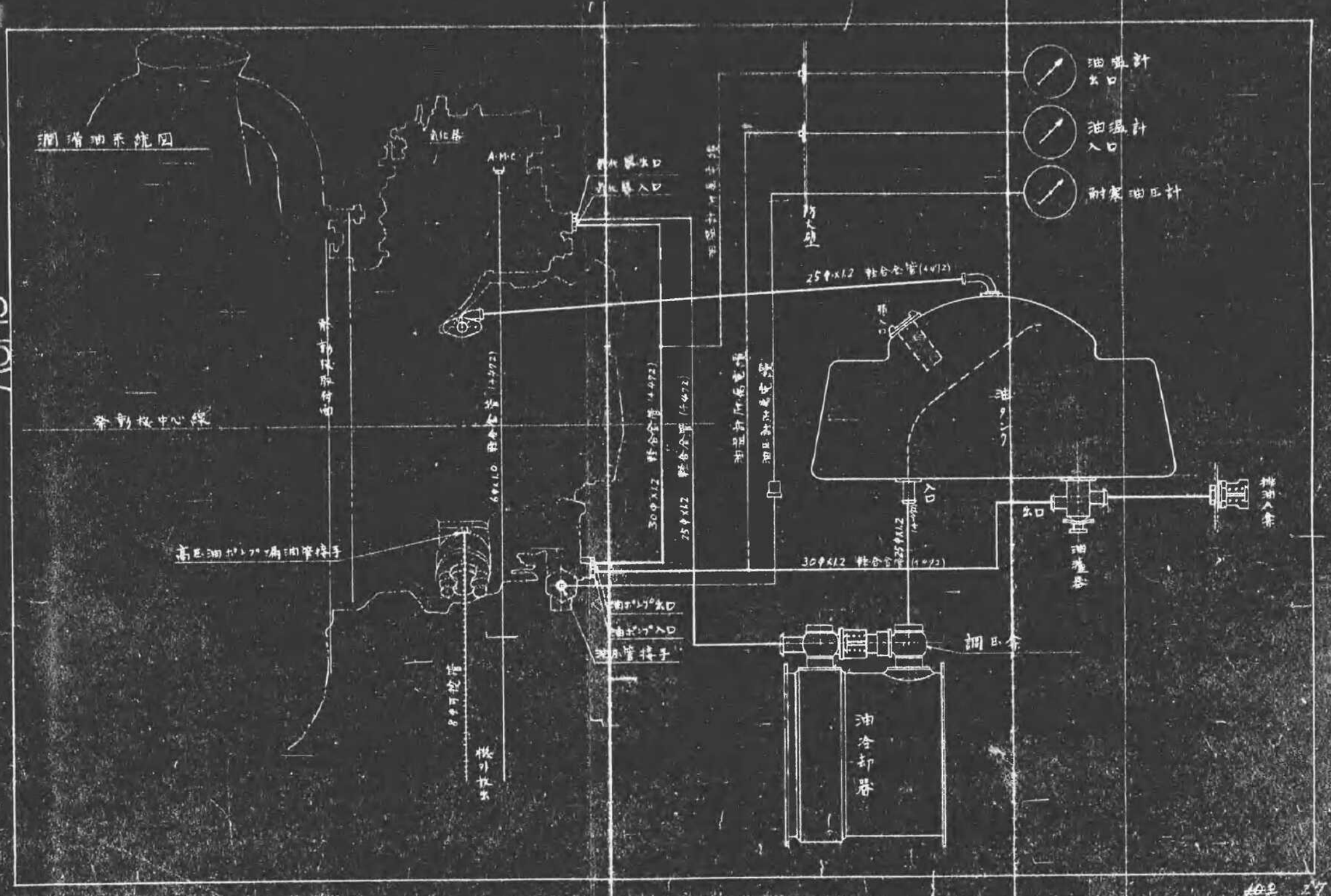


裏面白紙



Ag.13

裏面白紙

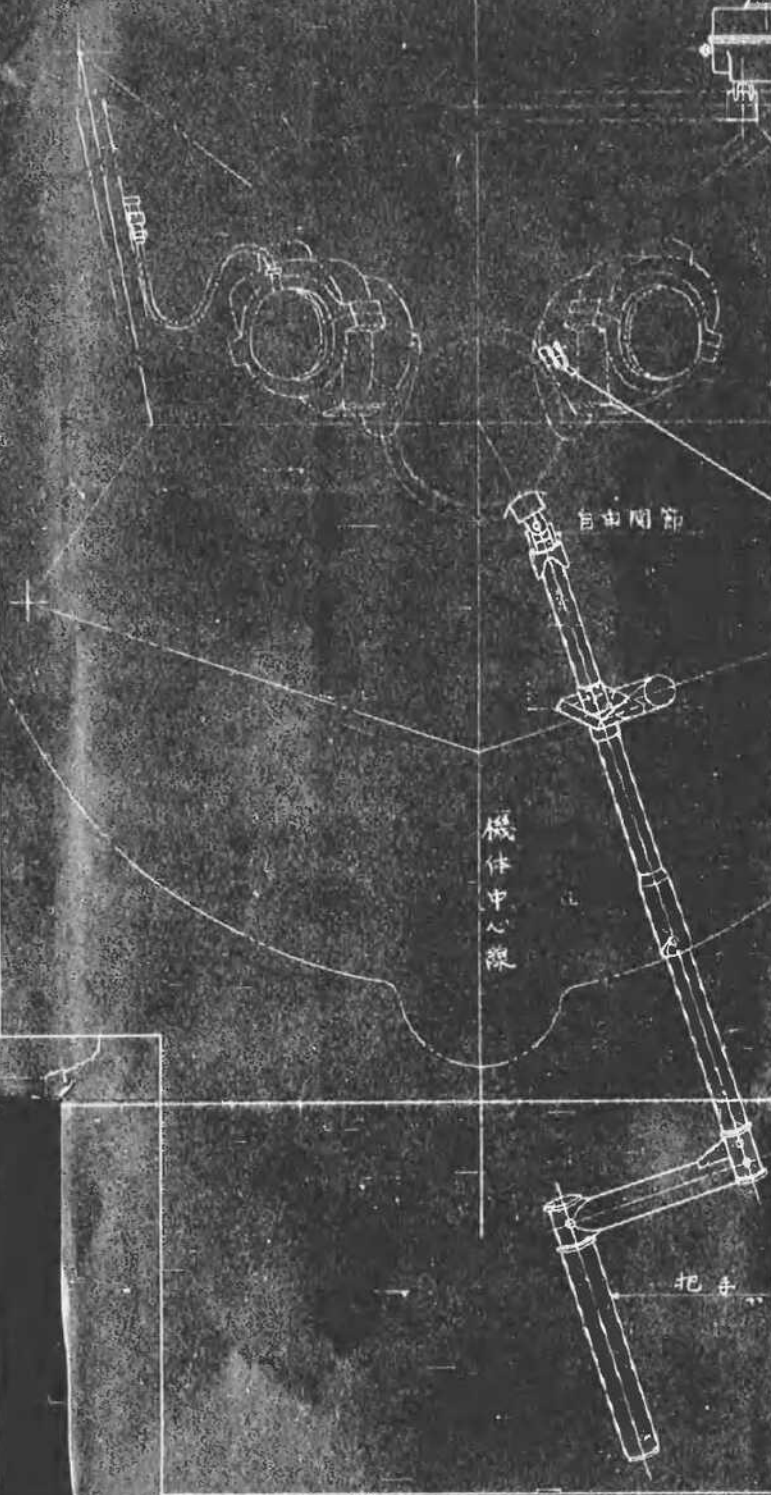


1 : 3 2



Ag43

D 起動装置
起動装置の構造図(概略)



井上器

胴体基準線

軸線

発動機架設

機体中心線

把柄

台車架設部

発動機架

発動機用高電線

発動機用高電線

内火線

計器用支線

機体中心線

分電器

分電器

裏面白紙



起動前注油装置 (第3404号)

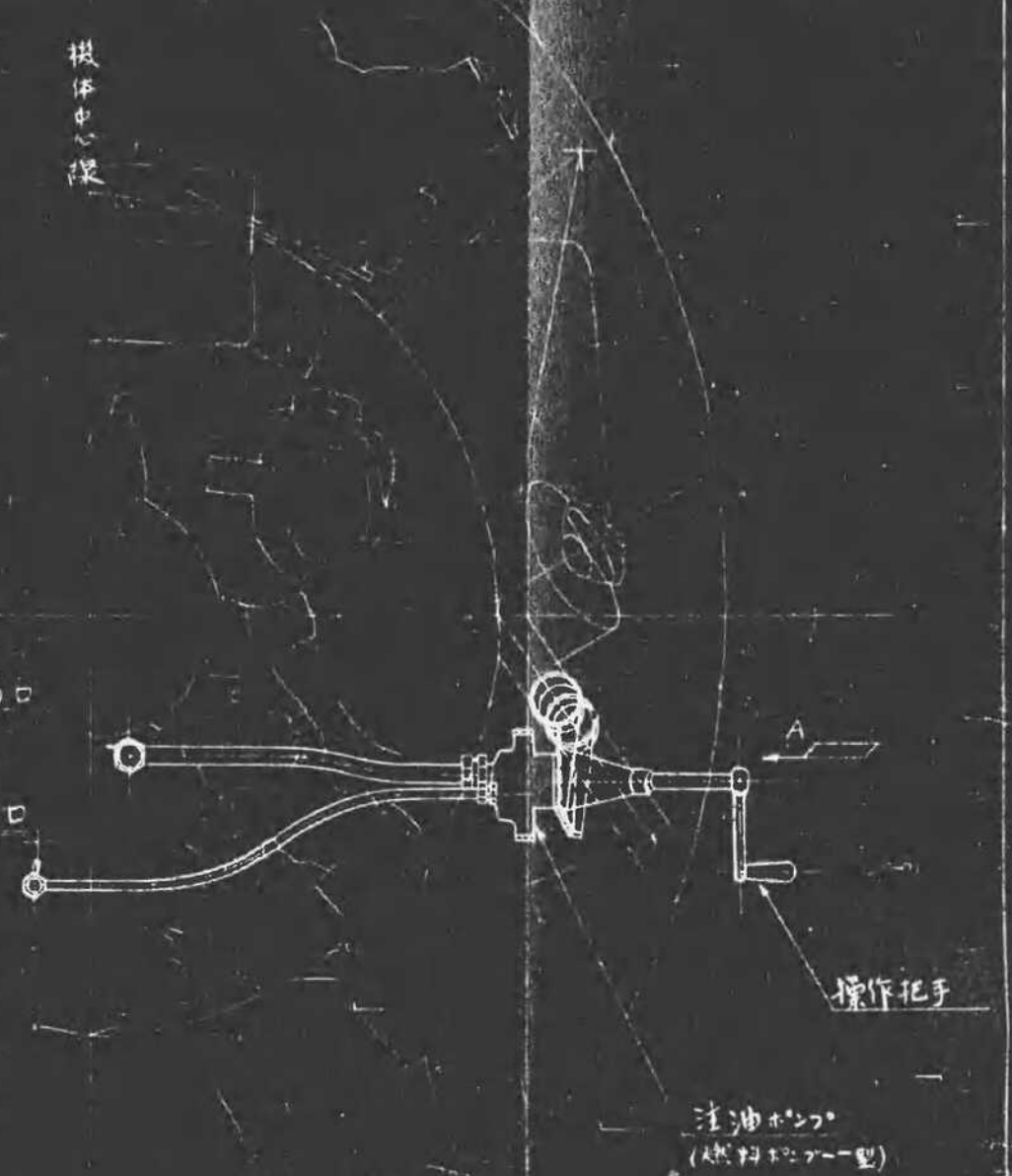
本装置は起動前=約150回ハシドレ7
回転ス



防火壁

機体中心線

給油口
注油口



操作把手

注油ポンプ
(燃料ポンプ型)

裏面白紙

1 : 25

AG13

裏面白紙

E. 発動機管制装置 及
 F. 恒速プロペラ管制装置
 絞車調整切換命^{= 連動装置} 及プロペラ恒速管^{= 連動装置} 管制把手ハ
 操縦席左側=アリ。ア-レン索及連桿=各
 機桿=連結ス。
 超過フ-スト把手ハ計器板左端=位シホテン
 索=ヨリ気化器機桿=連結ス。
 高度命操作量指示把手ハ操縦席左側=アリ
 連桿=ヨリ機桿=連結ス。

絞車高圧命、プロペラ恒速管、管制装置ハ途中取換
 摩擦及遊隙等ヲ極力減少セシムルハ勿論、連結
 部ノ点検、検査ヲ斯ニ厳密ニシ緊締ナリ割栓
 等、使用法不完全ナルモノ無カラシメ把手ト余トノ
 関係操作ヨリ常ニ確認シオケベシ。
 特ニ高度命操作量指示装置ハ次回因リP長
 則視方ノ操作抵抗カケP点ニ於テ0.5磅以下
 ニシテ作動円滑ナルトヲ確認シオケベシ。
 尚高度命操作量指示把手ヲ「薄」位置ニ押シ極
 カ余々ニ押力ヲ緩メルキ把手ハ円滑ニ「濃」
 位置ニ戻ルヲモ確認シオケベシ。

4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4

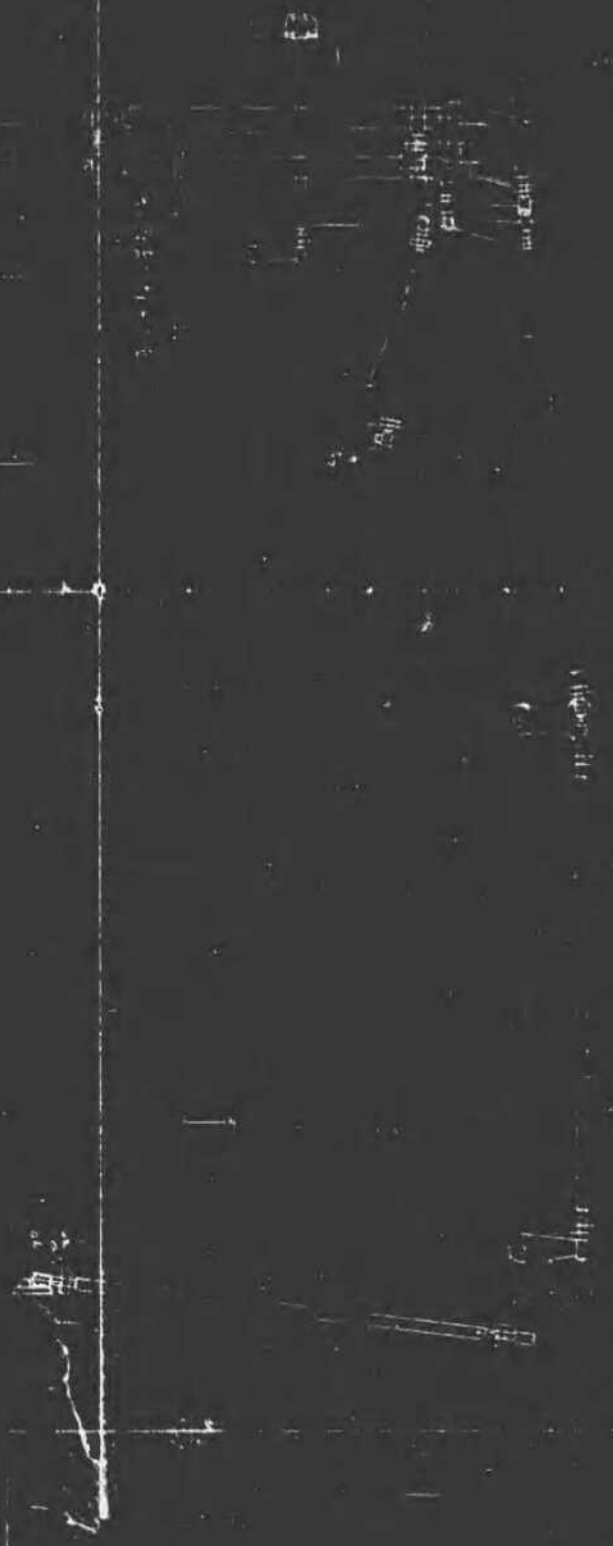
各種管制装置

7057 高圧管制装置

絞弁 高空知プロペラ超速機、管制把手、操縦席左側より、アール系と連桿より各横桿を連結し、
 超過アースト曳子、計器板左端二位より、ホーテン系より、異性接頭桿を連結し。



絞弁 高空
 連結部 異
 弁、開閉弁



裏面白紙

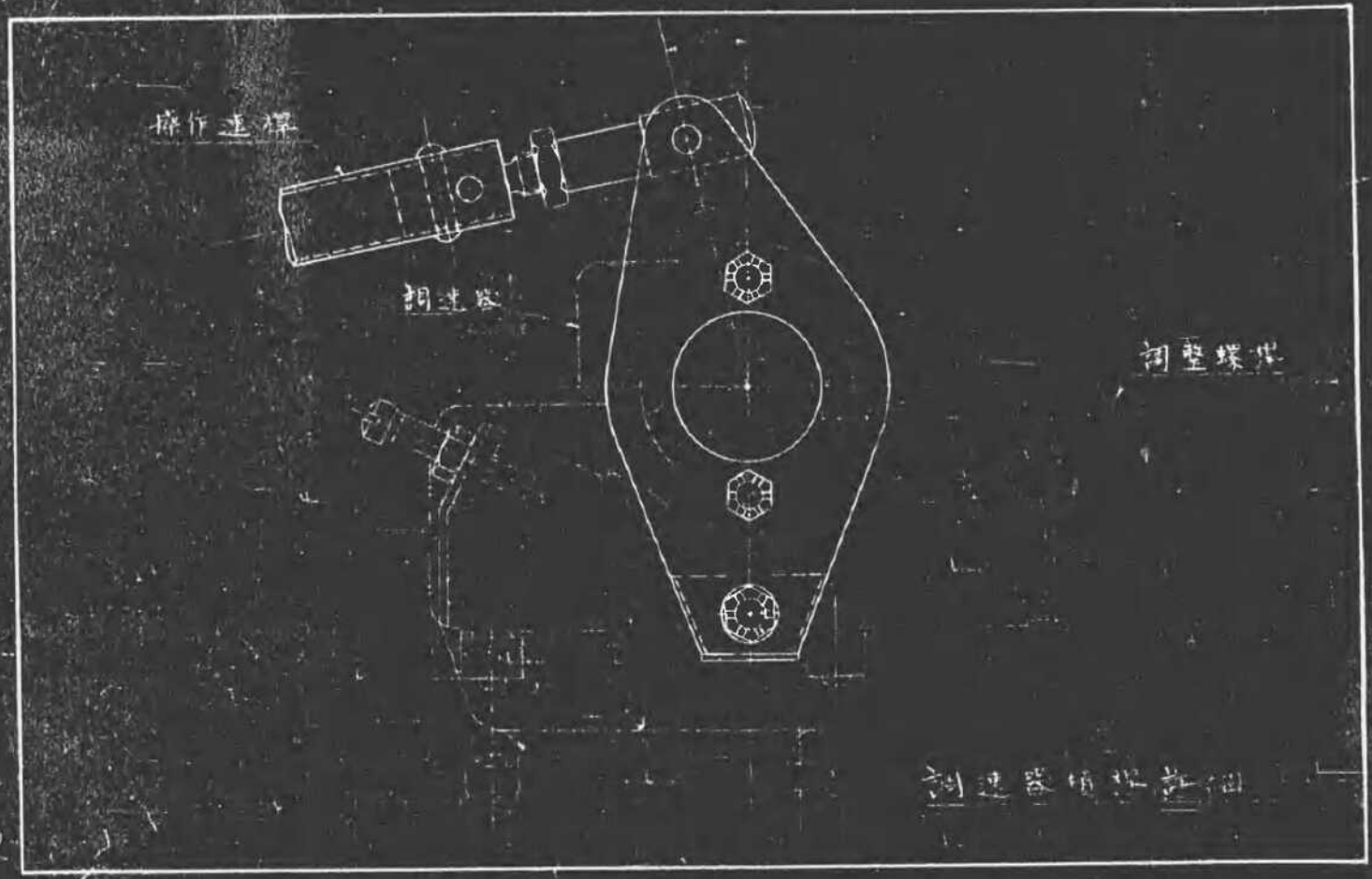


絞糸 高圧金 フック 調整器 管理装置 途中屈折 摩擦 遊線等 極力減スルハ 勿論
 連結部 更検査 特 嚴密 堅締 1/10 割合等 使用法 不完全 鋼製吊钩 把手
 有 鋼製操作 常 確認 位置





裏面白紙



1 : 3 2

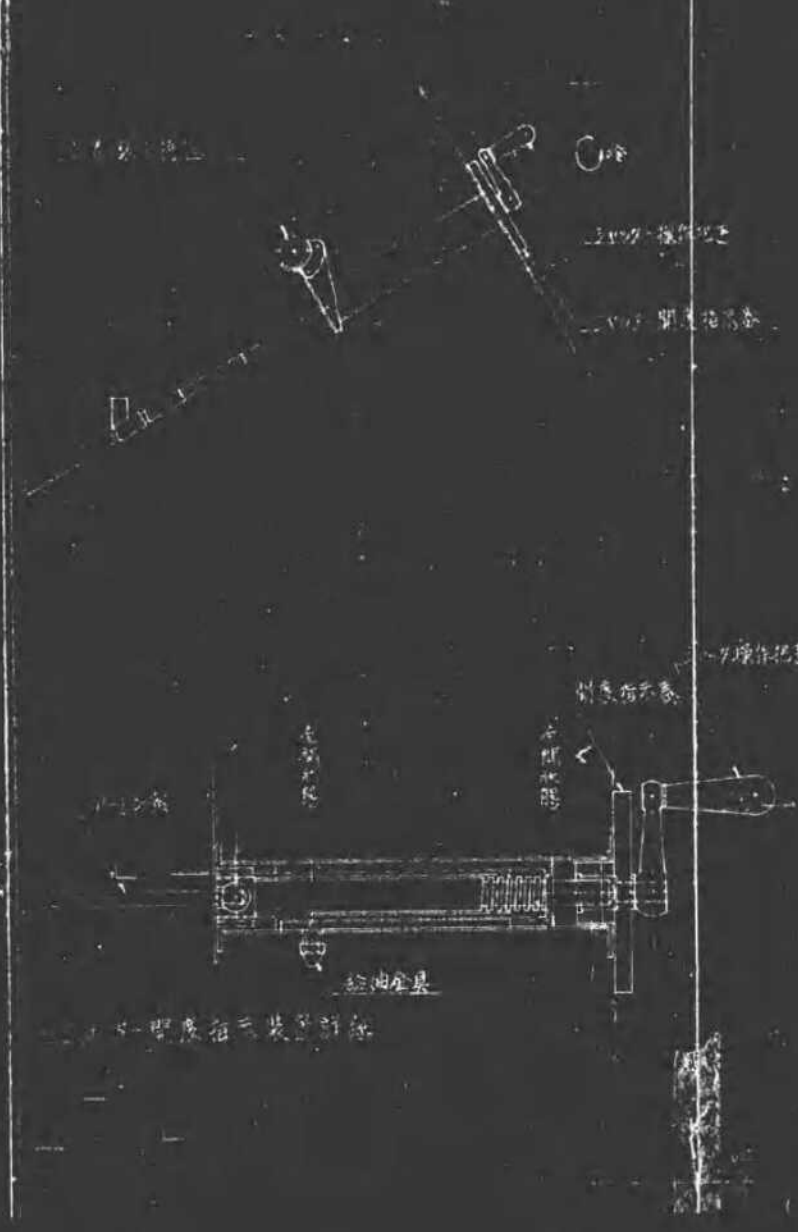
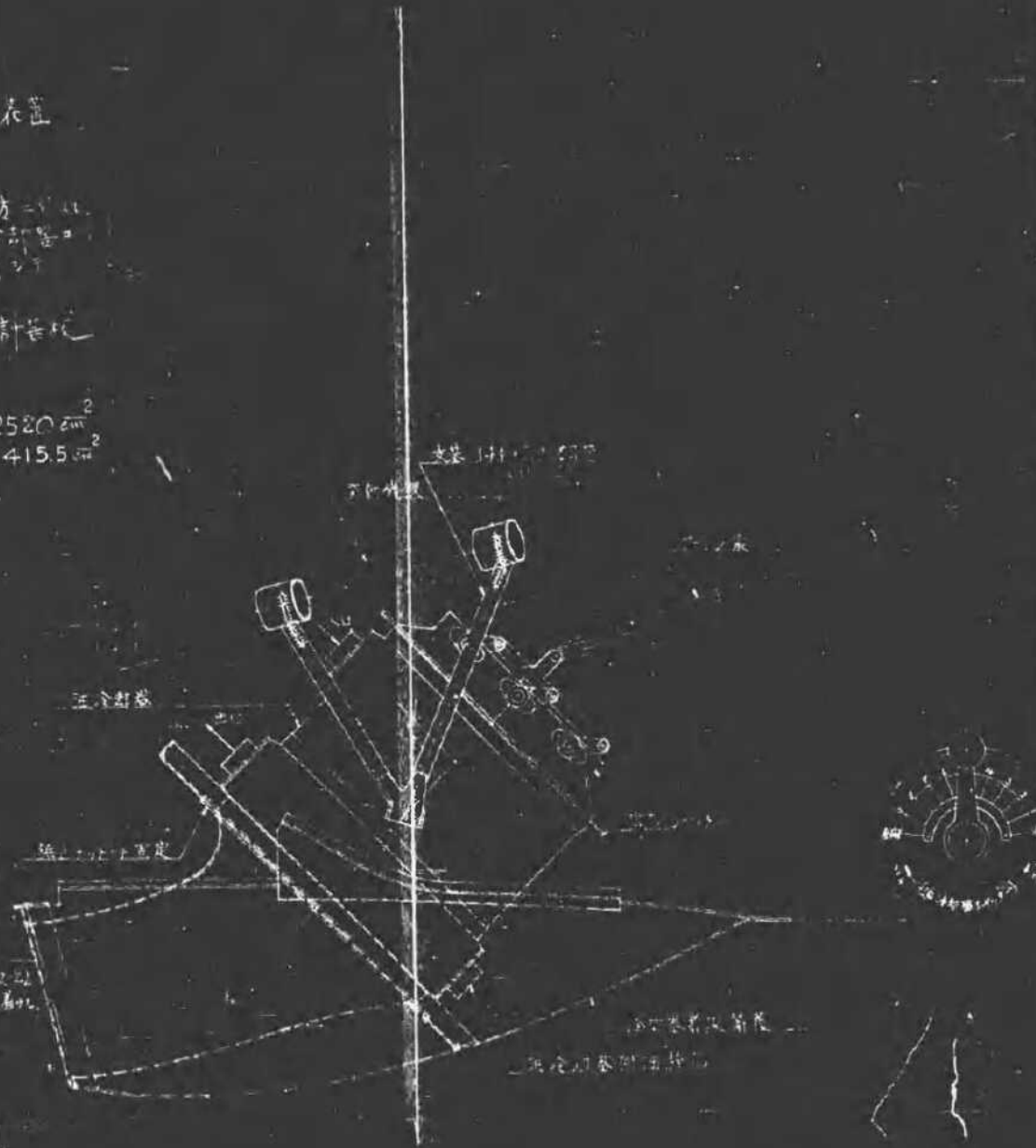


ASMB

G. 油温調節装置

(1) 油温調節装置
本図は、如く冷却装置を有し、
シリンダー、開閉用把手、
遮断孔、空孔、等、
油温調節装置、
シリンダー、開閉用把手、
（右下方に示す）

排風筒入口面積 2520 cm^2
冷却装置前面積 415.5 cm^2

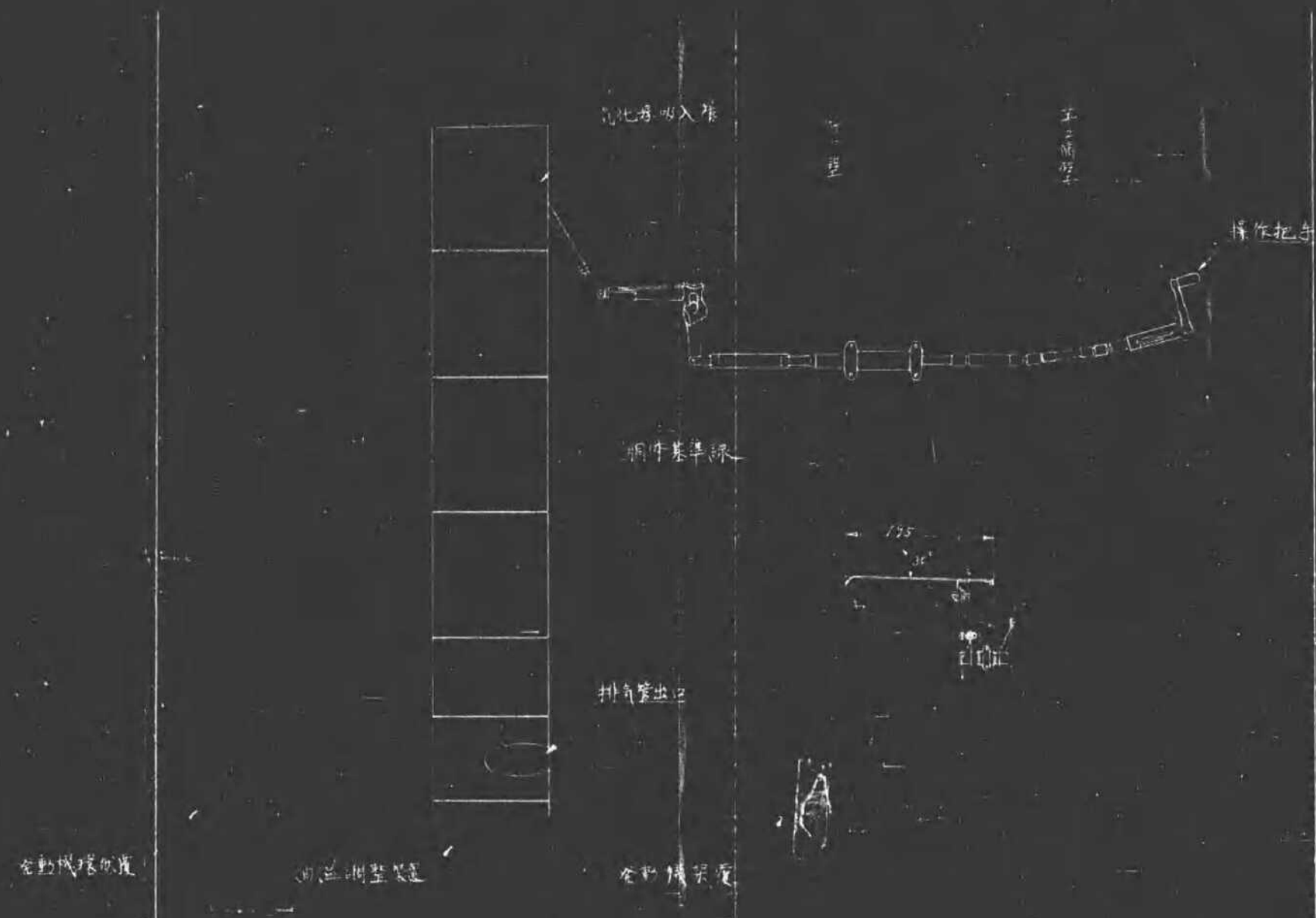


裏面白紙

169-32



12) 筒温調整装置
筒温調整-電動機環状電機部
1. フラッグカウル 同前(3)行ス
2. フラッグカウル 厚-10(4-2320)行ス
詳細-下図ヲ参照ス

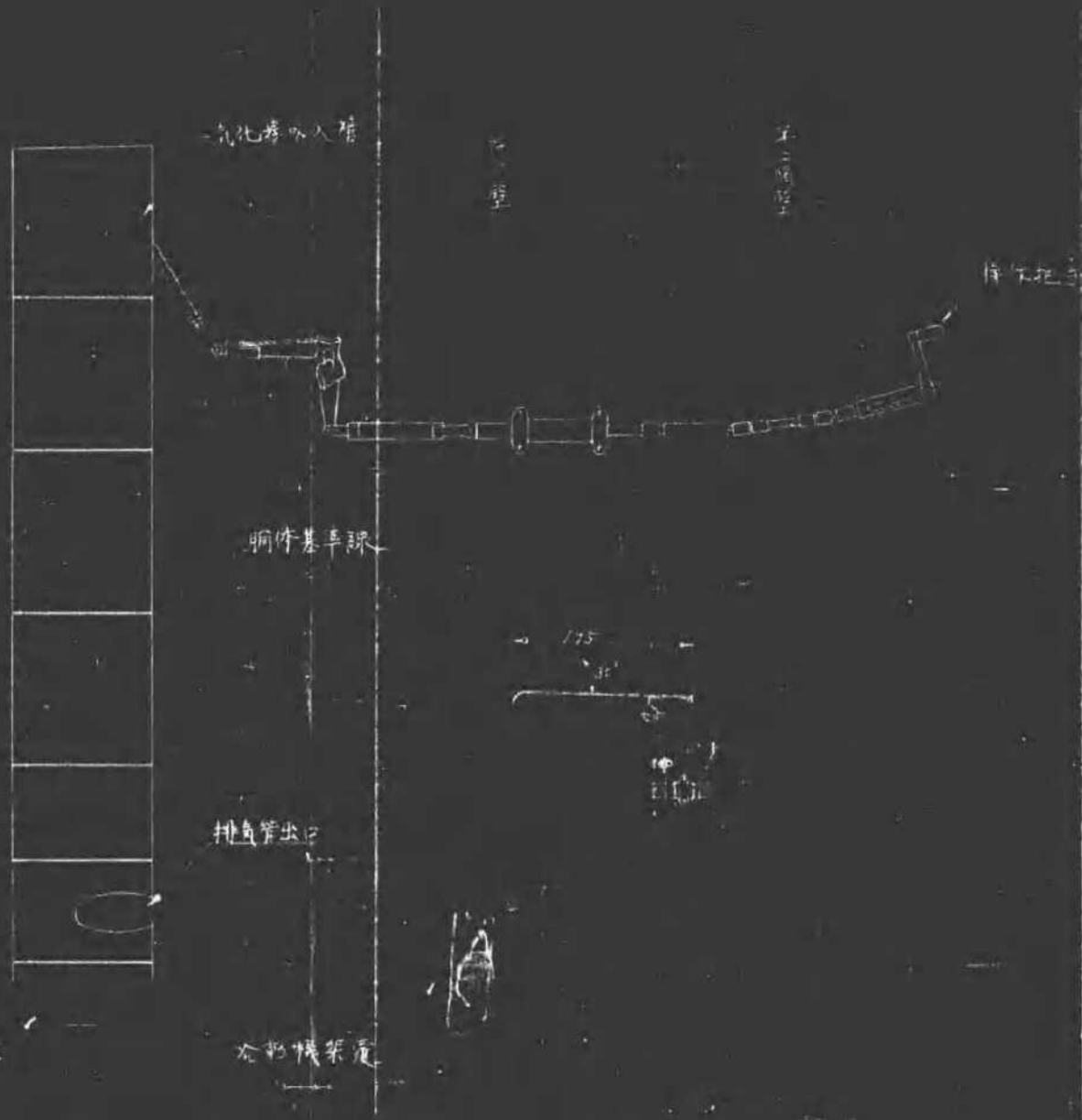


左右連結

筒体中心線



汽動機環状覆



油温調整装置

汽動機架覆



後方引見地図

裏面白紙



H. 1127

2011.11.17
2011.11.17

2011.11.17

2011.11.17

後才長音取付器具

柱目装飾帯

桐本堂名帳

小支所金具

茶動機等

各部詳細



胴体基準線

以件上ノ棒

A 支竹金具

外口ノ付取付金具

11

外口ノ付取付金具

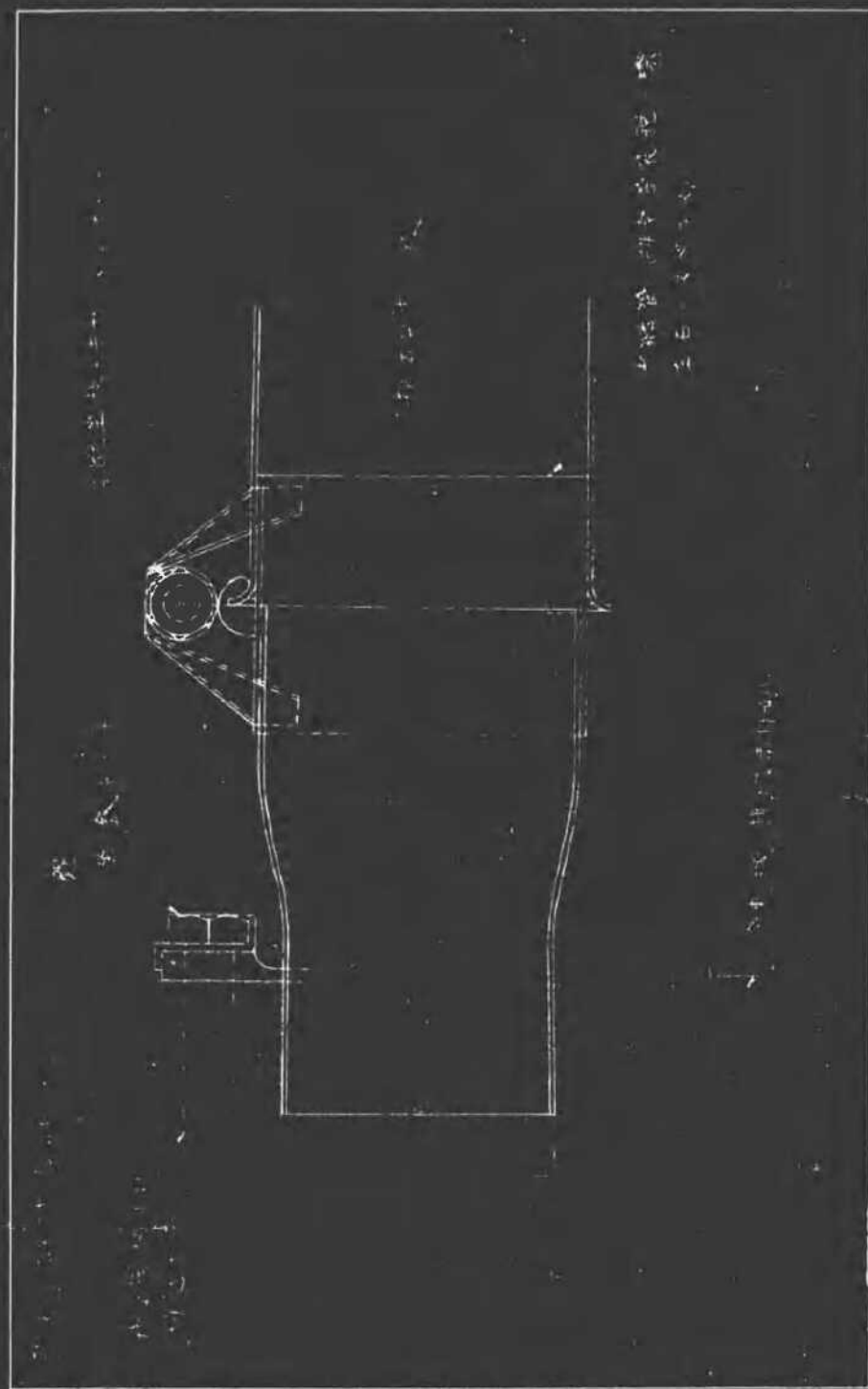
外口ノ付取付金具

外口ノ付取付金具

谷針機架

A 部詳細 (排気管支付装置)

裏面白紙



1 : 25

I. 全動機現狀表 (油圧式)

全動機現狀表、前後現狀変遷、着脱容易に開閉部+フックカクレ+取付板

前後現狀表、各7本、上下行全動機、撥挺、取付板、開閉部、取付板、支持ス

変換本体、4510、取付板(7.222乙)、支持金具、取付板(0.002)取付

開閉部、上下=二分、8個、緊締金具、以下

前後現狀表、付付板、70x20、外寸、高脱、容易、不動機、取付板、付付板

開閉部、取付板、取付板、取付板、取付板、取付板、取付板、取付板

取付板、取付板、取付板、取付板、取付板、取付板、取付板、取付板

取付板、取付板、取付板、取付板、取付板、取付板、取付板、取付板

取付板、取付板、取付板、取付板、取付板、取付板、取付板、取付板

取付板、取付板、取付板、取付板、取付板、取付板、取付板、取付板

取付板、取付板、取付板、取付板、取付板、取付板、取付板、取付板

取付板、取付板、取付板、取付板、取付板、取付板、取付板、取付板

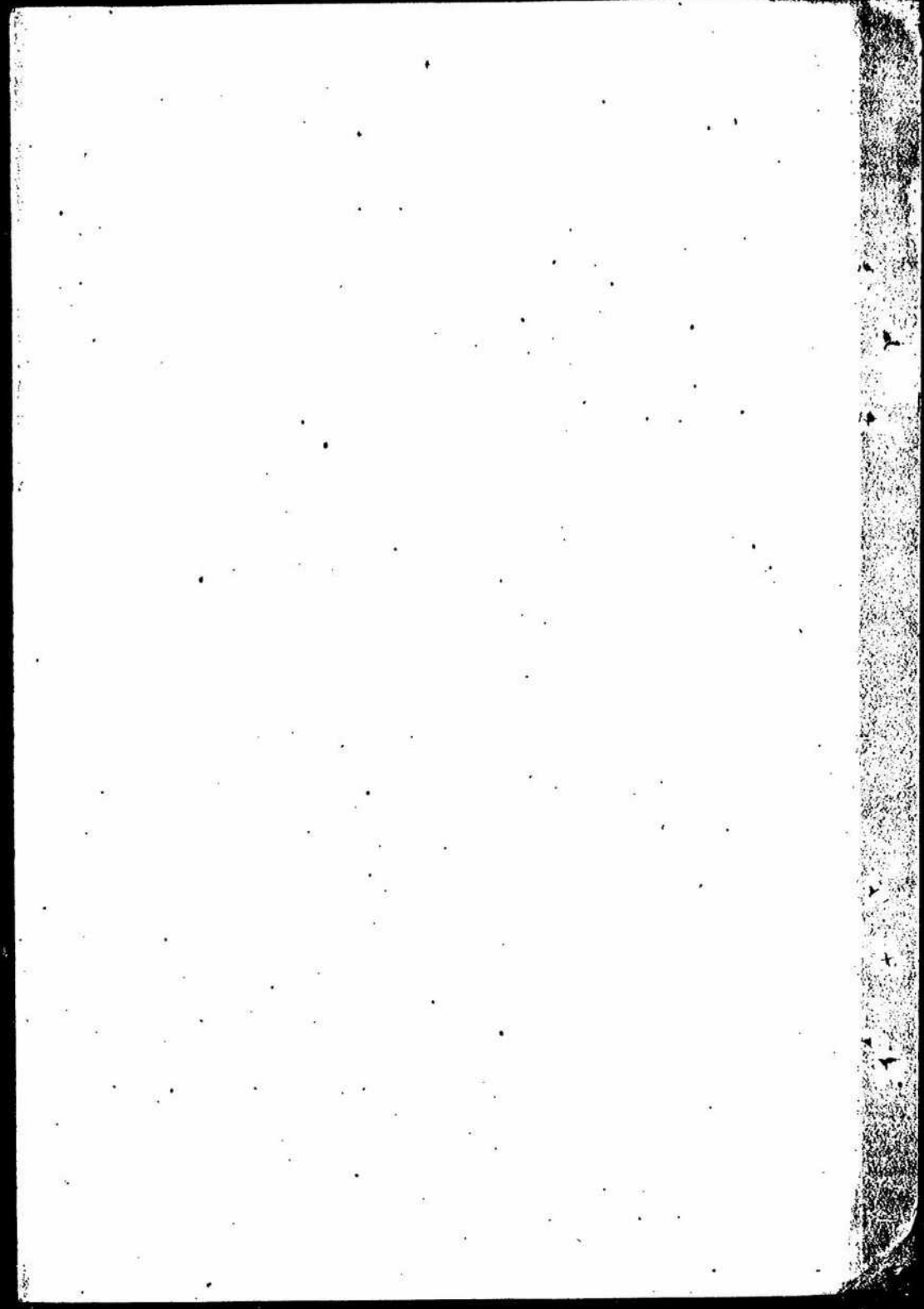
取付板、取付板、取付板、取付板、取付板、取付板、取付板、取付板

取付板、取付板、取付板、取付板、取付板、取付板、取付板、取付板

取付板、取付板、取付板、取付板、取付板、取付板、取付板、取付板

取付板、取付板、取付板、取付板、取付板、取付板、取付板、取付板

4013





新築工事

排水管

築地部変更
詳細 変更 水廻

掘り基準線

1000mm
1000mm (2) 水廻

1000mm

掘り基準線

掘り基準線

掘り基準線

排水管出口

掘り基準線

掘り基準線
掘り基準線

機務部

司
文書
文書

司他若收入管

緊締部
詳細 文書

相今基準課

詳細 文書

後方課

前方課

後方課
中心線

後方課
後方課

後方課
由今打各專航前

後方課

裏
面
白
紙

AG13

1. 牽動機架

牽動機架は、前方固定部と後方開閉部とを大別
とす。前方、牽動機架 = 後方、第0番隔壁 =
下方、油冷却器風筒 = 接又。

総寸45mm 寸法シリン (寸 232 Z) 製ナリ

前方固定部、集合排気管、裏面トナル部分 = シテ
熱風、侵入ヲ防グ。上、中、下ノ三部分 = 分レ
中部ハ牽動機架 = 堅ク支拵ナレ「フロッグ」カウル、
操作装置、一部ヲ装備ス 3.1.9 G. (2) ヲ参照
スベシ。

上下部「鉄止ナット」ヲ牽動機架及中部 =
取付ケルニ、以テ容易且、直結牽動機架
及気化器等ノ接続 = 便利。

後方開閉部、磁石、牽電機、点検其他
= 便利ナル「ばね止ピン」及「鉄止ナット」
= 于前方固定部、第0番隔壁 = 取付ケラレ、
容易ナリ。

裏面白紙

1 : 3 2



發給...

念...

發...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

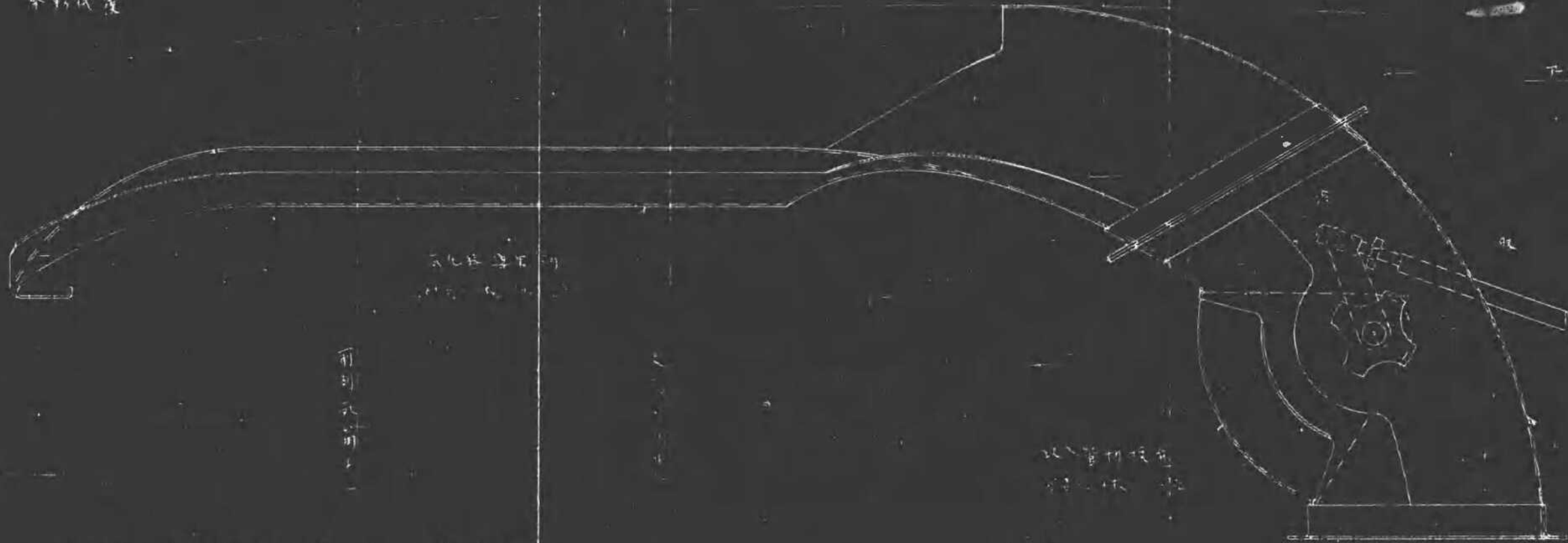
裏面紙

1 : 25



K 氧化器導氣管 氧化器吸入管 吸氣器支調整装置

管口位置



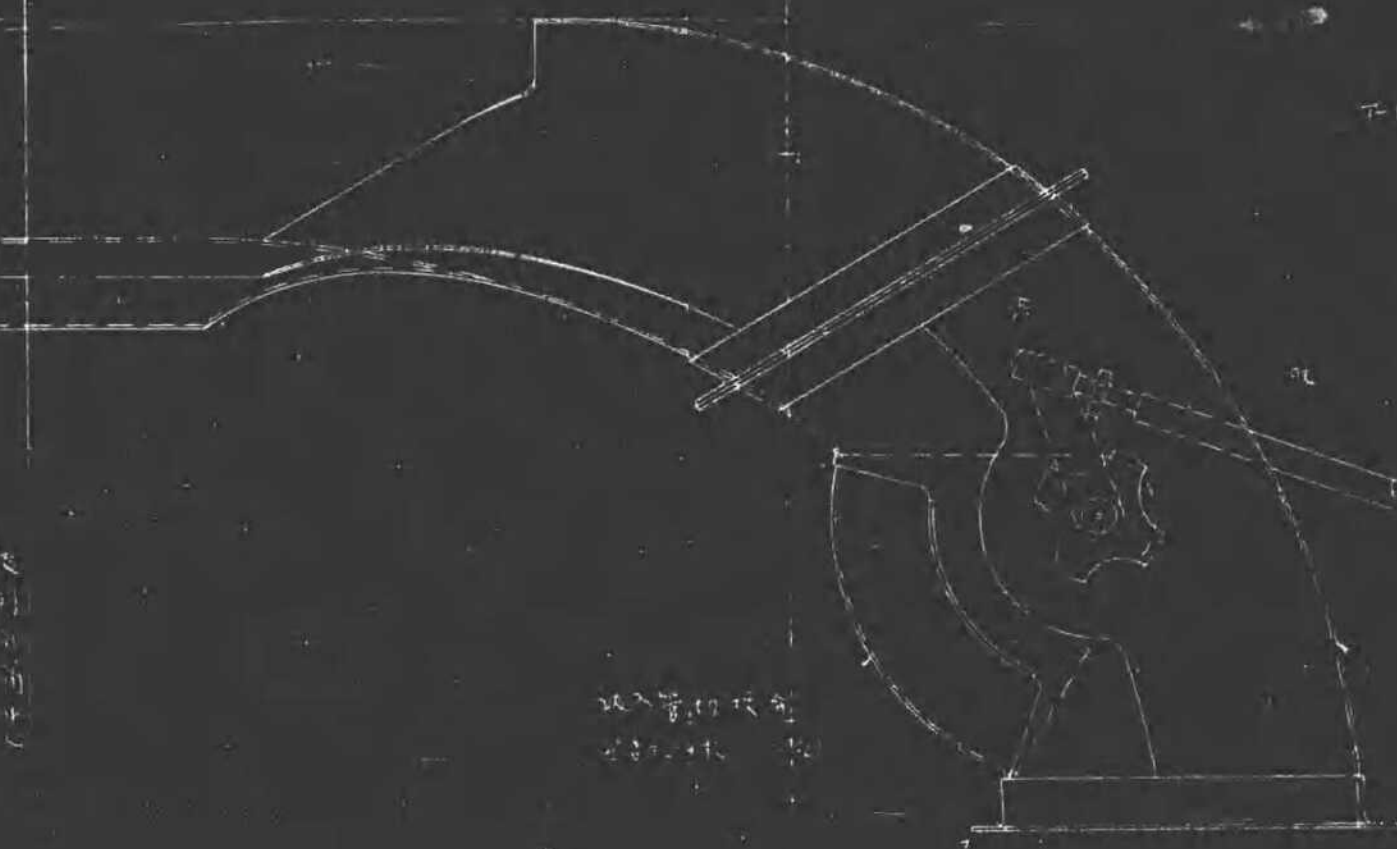
氧化器導氣管
吸入管

可別式用

吸入管調整
装置

吸入管調整装置 吸入管調整装置
可別式用 可別式用
可別式用 可別式用

各別式用
可別式用
可別式用

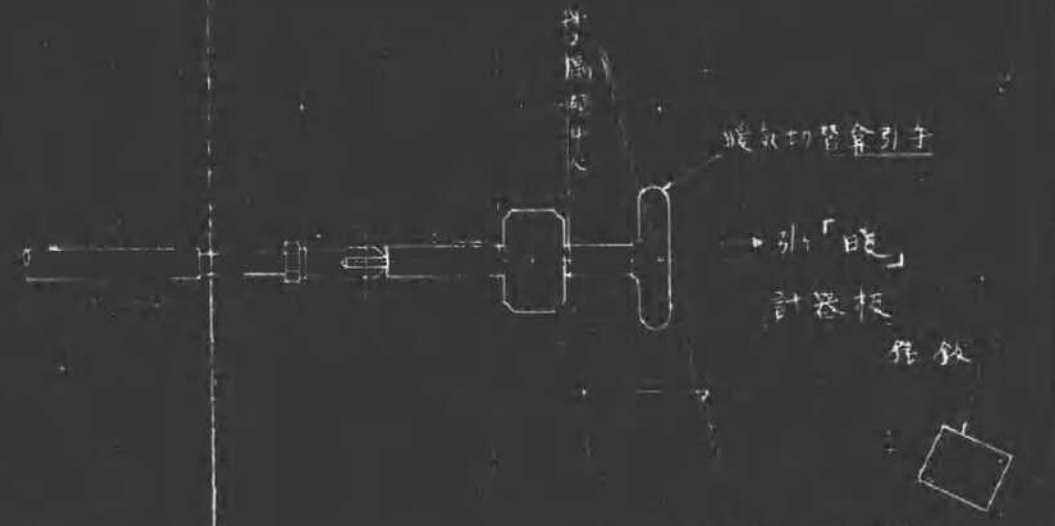


汽缸の構造
 汽缸の構造

汽缸の構造
 汽缸の構造
 汽缸の構造

汽缸

汽缸の構造
 汽缸の構造



汽缸の構造

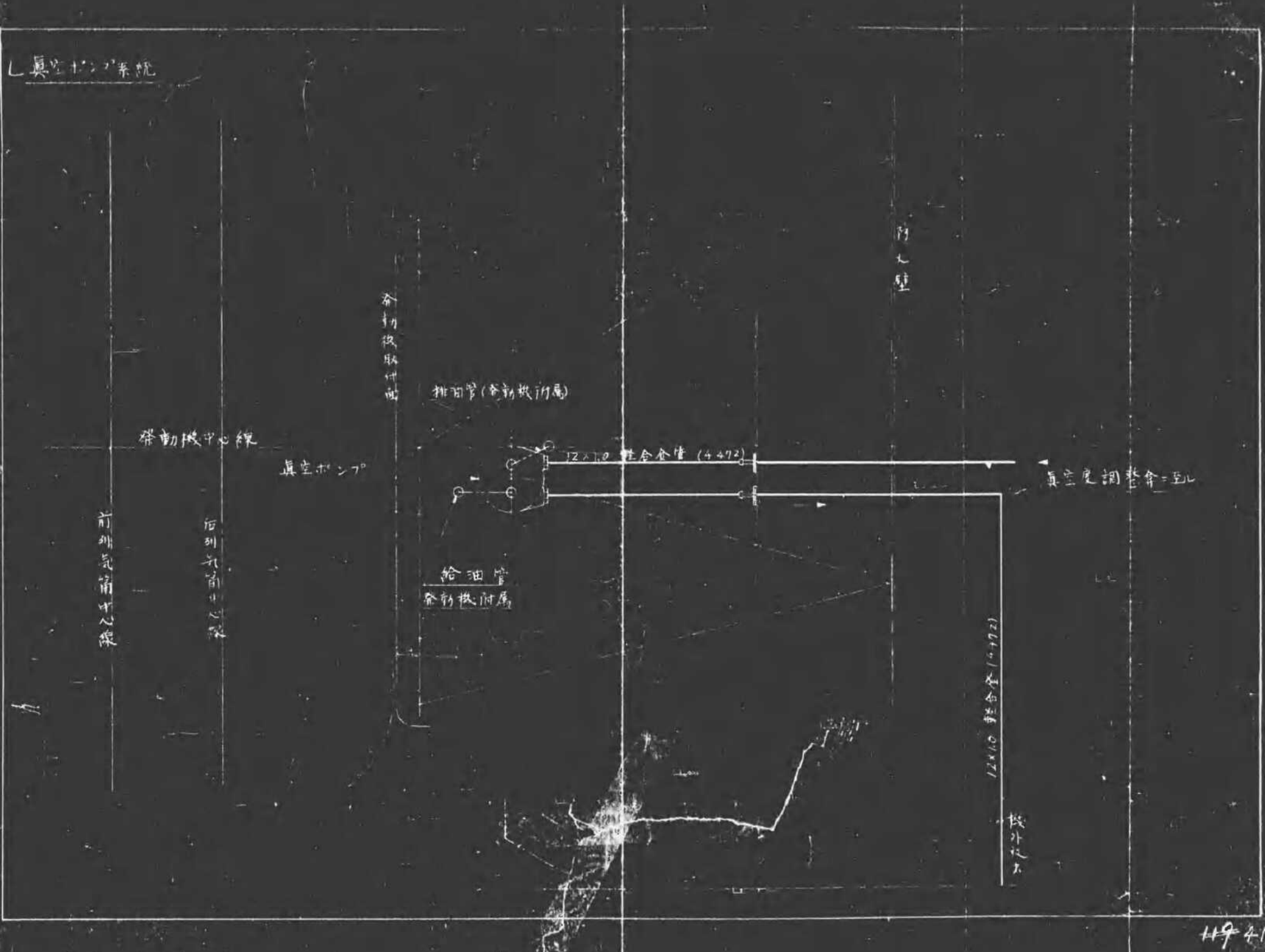
汽缸の構造

汽缸の構造

汽缸の構造
 汽缸の構造
 汽缸の構造

汽缸

裏面白紙



AdmB

裏面白紙

11941



V 奉新縣 補板 全 測量圖

補板 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十

（單位：米）

第 4-10 號



補板 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十

（單位：米）

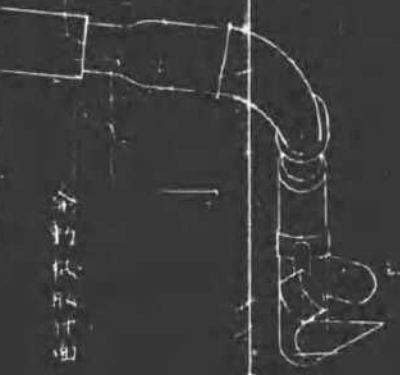


補板 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十

（單位：米）

4271

色紙



裏面白紙

4. 發動機 4.1. 發動機一般要目表
構造 (榮一型)

型式	複列星型 14 シリンドラ 固定空冷式	
主要寸度	全長	1.630 米
	直径	1.150 米
シリンダ	内径	130 耗
	行程	150 耗
	全行程容積	27.9 立
圧縮比	7.0	
回転方向	クランク軸	機材の見方 右
	プロペラ軸	同上
減速装置	型式	遊星歯車
	減速比	0.5433 : 1 (1/2)
プロペラ軸	型式	空基 C ₁ -85
過給器	型式	二連遠心歯車式
	増速比 翼車直径	*=速 6.37 * =速 8.44 305 耗
気化器	型式	中島=聯降流 100 型
	個数 小管直径個数	1 個 80 耗 2 個
燃料ポンプ	型式	燃料ポンプ -- 型
	個数	1 個
	主軸回転比 回転方向	0.9 右
油ポンプ	型式	三級歯車式 (試 293 機迄使用)
	個数	注油 1 個 排油 3 個 送油器 1 個 67 耗 27 29 77 耗 21 1.193
	主軸回転比 回転方向	右

裏面白紙

AGMS

	型 式	種別 (AVELKJ 等) K6.2 型 (機軸比 1:1)
磁石系電機	個 数	1個
	主軸回転比	0.875 : 1
	回転方向	左 (機軸側より)
點検装置	型 式	Y 点検
	個 数	28個
電眼車 (1) 点検台車		F) 2, 4, 6, 1(3), 5, 7 R) 1(3), 5, 7, 2, 4, 6
	電眼角度	22度 (計測マフ番号) 尺3
糸開閉角度 (寸3番ニシテ 於テ零位 7.35度 時(分秒))	給入開	
	給入閉	
	排出開	
	排出閉	
起動装置	型 式	手動慣性起動機一型
	操作手回転方向	左 (機軸側より)
機械傳動装置	型 式	九五式同調装置
	主軸回転比	0.583 : 1 (2000 軸同シ)
	個 数	2個
回転計傳動機	型 式	
	主軸回転比	
充電用発電機	型 式	充電用発電機一型
	主軸回転比	1.4 : 1
	個 数	1個
	回転方向	左 (機軸側より)
真空ポンプ	型 式	真空ポンプ一型
	個 数	1個
	主軸回転比	0.833 : 1
	回転方向	左 (機軸側より)

裏面白紙

AGM13

空気ポンプ	型式	海軍制式
	個数	1個
	主軸回転比	0.5 : 1
	回転方向	右 (接手側から見)
高圧油ポンプ	型式	高圧油ポンプニ型
	個数	1個
	主軸回転比	0.9 : 1
	回転方向	左 (接手側から見)
プロペラ駆動器	型式	海軍制式
	個数	1個
	主軸回転比	0.972 : 1
	回転方向	左 (接手側から見)

注意

駆動機寸目及性能(次頁)ハ非公式ノ数値ニシテ
 正式数値ハ駆動機製作所ニ於テ査索(モリ)ヲ
 見ル(当所ニ於テ未ダ正式数値ヲ入手セザル)

裏
面
白
紙

性能(栄一型)

項目		常用最大	公称	離昇	
給入圧力(水銀柱)		+75托	+200托	+300托	
回転数	クランク軸(毎分)	2520	2700	最大 2750 最小	
	プロペラ軸(毎分)	1470	1575	最大 1605 最小	
公称高度		ネー 2850米 ネ二 6000米			
出力	地上馬力	820	1010	1130	
	於公称高度	馬力	()	1400	
		立馬力		39.4	
		馬力当り重量		0.536托	
		平均有効圧力		132托/種 ²	
トルク		500托米			
燃料	標準燃料	航空92揮発油			
	比重	0.72			
	圧力(於常用運転)	0.3 ~ 0.35 托/種 ²			
料	消費量(毎時)	標準立	295	420	485
		出力	260	300	310
潤滑油	消費量	常用最大	7/10	5/10	4/10
		立	215	210	205
潤滑油	標準潤滑油	航空鉦油			
	比重	0.89			
	循環量	於公称運転	毎時	立	毎時毎馬力 立
		於回転	毎時	立	毎時毎馬力 立
	圧力(於常用運転)	6托/種 ² 標準音 12托/種 ²			
	循環量(於公称運転)				
放熱量					
出入口温度差					

AGMB

裏面白紙

A6M3

使用限度(栄一型)

項目	記 註 事 項	
給入圧力	公称	+200 托 分間
	離昇	+300 托 分間
回転数	公称	2700
	離昇	2750
	超高速	
シリンダ温度	許容最高	度
	30分間使用	度
	長時間使用	度
	許容最低	度
燃 圧	最 高	電/鐘 ² 最 低 電/鐘 ²
油 圧	最 高	電/鐘 ² 最 低 電/鐘 ²
入口温度	許容最高	度
	30分間使用	度
	長時間使用	度
	許容最低	度

裏面白紙

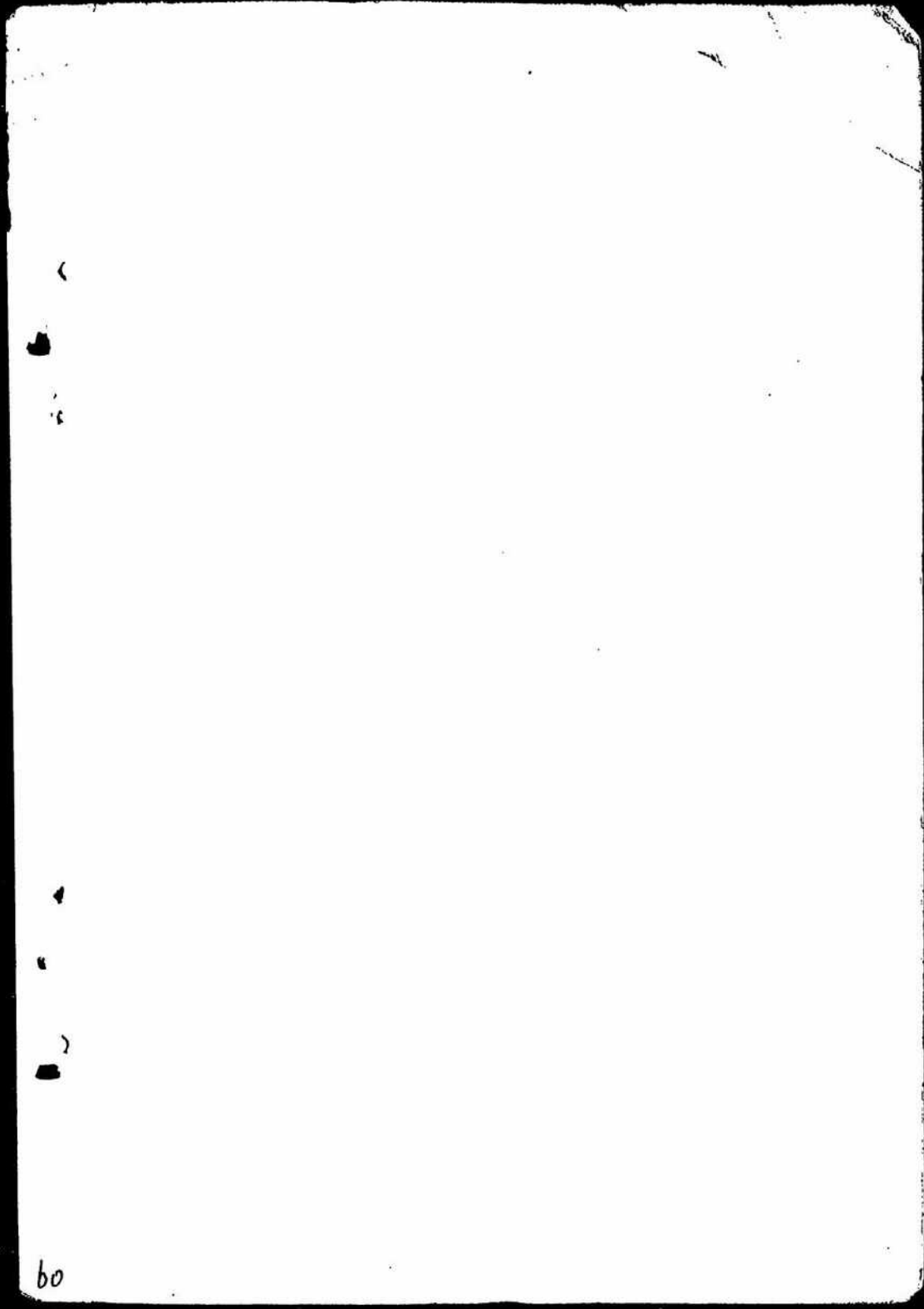
A643

重要部品(計=1台)

発動機(使用状態) (内訳) 単位 電	発動機(使用状態) (内訳) 単位 電
発動機	乾燥機
磁石	抽油機
高圧電線	集電板
大栓	充電用発電機
気化器	真空ポンプ
燃料ポンプ	空気ポンプ
機油供給装置	高圧油ポンプ
	フロン調速器
	発動機内潤滑油
	空気取入口
	排気管

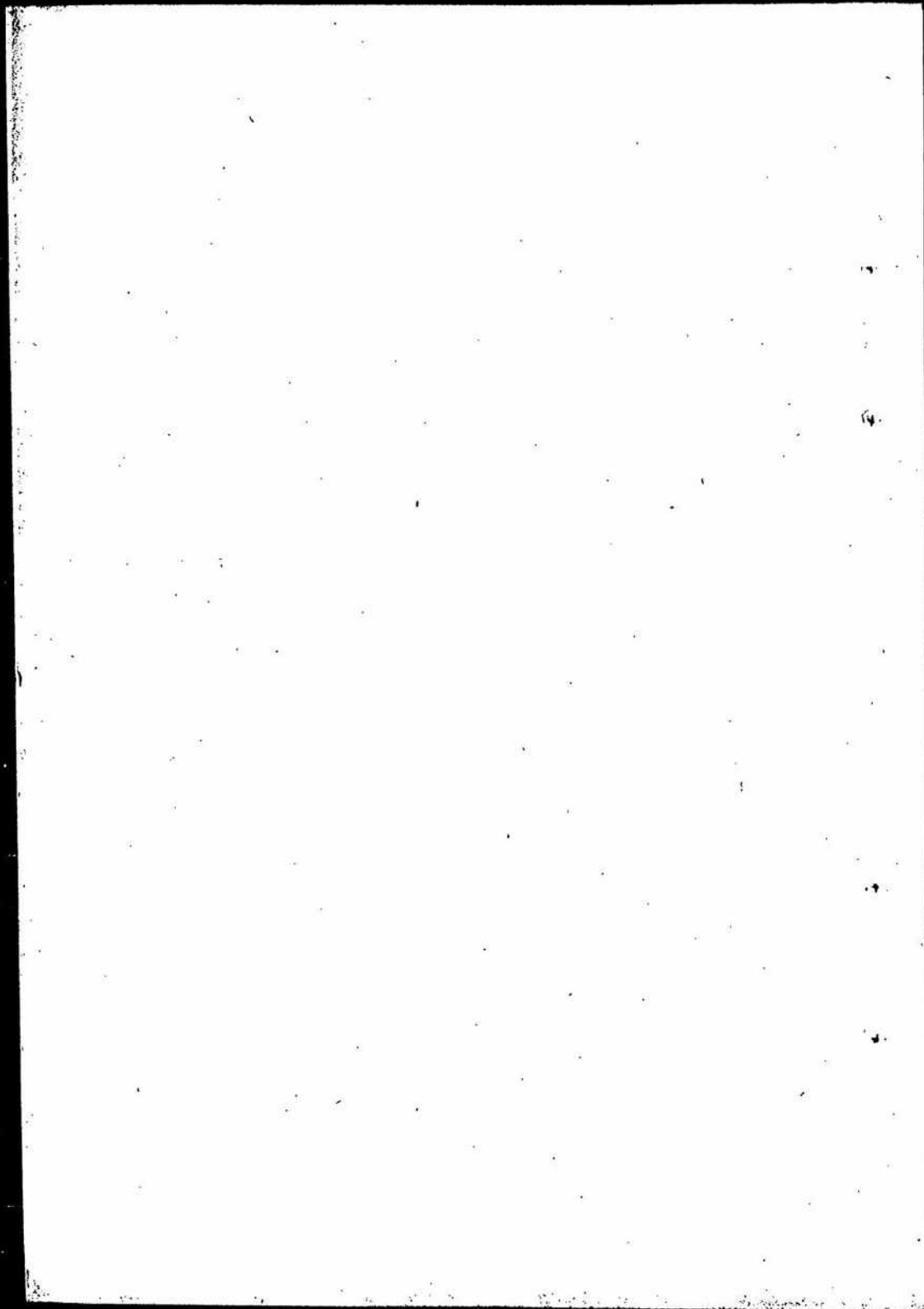
発動機(使用状態、フロンポンプ及ポンプを除く)は、
中心位置、発動機取付面の前方へ 配置

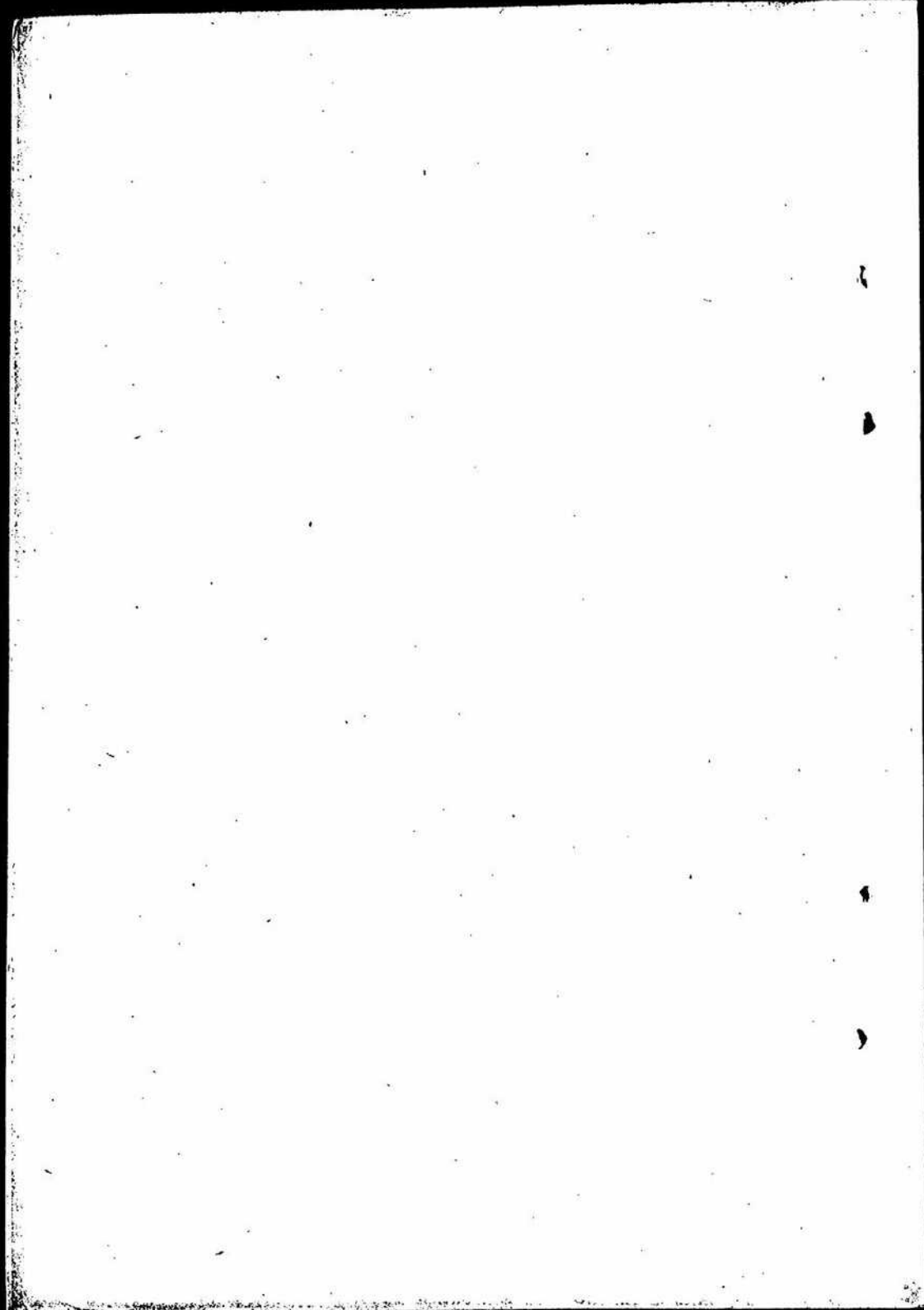
裏面白紙



60







10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

国立公文書館	
分類	② ③
配架番号	3 A
	14
	68-1

国立公文書館	
分類	
配架番号	68-1

才
才

め
く
れ
ず

国立公文書館	
分類	
配架番号	68-1

機構説明書
 兵科之部

伊號第 古 巻

十部ノ内第 一 號

表紙共 三 冊 付

C
 R

めくられず

Key - Left
 Green - Right
 Black - Any One

					本 書 配 付 先	
番 號	配 付 先	番 號	配 付 先	番 號	配 付 先	番 號
一		六				
二		七				
三		八				
四		九				
五		一〇				
					神 皇 正統記 本 編 卷 之 百	

目 次

第一編 神皇正統記 本編 卷之百
 第二編 神皇正統記 本編 卷之百
 第三編 神皇正統記 本編 卷之百
 第四編 神皇正統記 本編 卷之百
 第五編 神皇正統記 本編 卷之百
 第六編 神皇正統記 本編 卷之百
 第七編 神皇正統記 本編 卷之百
 第八編 神皇正統記 本編 卷之百
 第九編 神皇正統記 本編 卷之百
 第十編 神皇正統記 本編 卷之百